

御殿場市と小山町のすがた

西に霊峰富士を仰ぎ、東に箱根外輪山・北に丹沢山地に囲まれた美しい自然と緑豊かな高原に御殿場市と小山町がある。

この地に人類が住みついたのは、6～7千年前の縄文時代といわれ、遺跡からは土器や住居跡が多数発見されている。この地は度重なる富士山の噴火による、苦難な歴史の中で集落ができたとおもわれる。歴史に残る宝永4年の大噴火により、大量に降った砂は、富士山麓を3メートル～6メートルの深さで覆いつくすという大災害となった。この大災害は、時の関東郡代伊奈半左衛門の活躍により復旧がなされ、その功績は大きく後の世にも語りつがれている。

鎌倉時代には、源頼朝によって巻狩が富士の裾野一帯で行われた。この巻狩に因んだ多くの伝説や地名が管内各地に残っている。

戦国時代には、交通の重要地点であったので、めまぐるしい攻防が行われた。何度か領主が変わった後、寛永10年、小田原藩に組み込まれた。宝永4年の富士山噴火以降一時期幕府領となったが、噴火から40年後に小田原藩領に復帰した。明治維新後駿府に編入され、明治4年の廃藩置県が実施されると、駿府藩は静岡県となった。

昭和28年の町村合併促進法により、現在の御殿場市と小山町が生まれた。

昔、富士講と呼ばれた人達が富士山に登ったが、明治22年に東海道線開通で御殿場駅が設置されると、夏の登山期には、御殿場口、須走口は全国からの富士登山者で賑わった。今では御殿場口は新五合目まで車で直行し、須走口はマイカー規制によりバス・タクシー等の交通機関を利用しての登山が主になっている。

管内は富士・箱根・伊豆国立公園の国際観光地の中心地にあり、東名高速道路や国道246号線、国道138号線、国道469号線、東富士五湖道路といった幹線道路が通っている。こうした交通の要所であるため交通渋滞がしばしば発生している。

地形としては、御殿場市のほぼ中央が南北の分水嶺となり、霊峰富士の雪どけ水は、それぞれ相模湾と駿河湾に注いでいる。

管内には広大な大草原といわれている大草原を有しており、古くは源頼朝の富士の巻狩に、明治後期からは旧日本陸軍の演習場として使用されていた。昭和34年に東富士演習場使用協定が結ばれ、現在、演習場は自衛隊が使用し、陸上自衛隊富士学校や3つの駐屯地があり自衛隊の街として知られている。同時に周辺住民の生活環境改善事業が行われている。

産業経済では、明治29年に小山町で富士紡績が創設され、その後自然環境に恵まれた御殿場市や小山町に多数の工場が進出し、研修施設、保養所等が建設された。更に、駒門工業団地、神場工業団地、富士御殿場工業団地、板妻南工業団地、富士小山工業団地、ハイテクパーク富士小山、研修所施設を中心とした御殿場市と小山町にまたがる東富士リサーチパークの開発も進んでいる。レジャー産業の一つであるゴルフ場も多く御殿場市に11ヶ所、小山町には11ヶ所の合計22ヶ所がある。

日本が誇る富士山、その麓に位置する御殿場市では富士山が与えてくれる豊かな自然環境に調和し、さらにこれを育むまちづくりと、雄大な富士山にふさわしい、心が大きくて思いやりのある人づくりを進め、だれもが生きがいと誇りを持って暮らすことができる、人と環境が共生するまちを将来都市像「緑きらきら、人いきいき、御殿場」として表している。小山町では「富士のふもと 人々のふれあう心豊かなふるさと・おやま」をテーマに、先人が守り育ててきた富士山をはじめとする豊かな自然や歴史を町の誇りとし、人と人、人と自然などのふれあいをおして、美しい自然を守り、快適な町民生活と特色ある文化を創造していくことを目標としている。

特産物では、富士山の雪どけ水を利用した水かけ菜は全国的に知られ、良質なわさびも栽培されている。

気候は、夏涼しく東海の軽井沢といわれ、快適な生活を過ごすことができる。

また、雨量と霧（ガス）が多いことが原因で、湿度が高く、山に囲まれているため天候が変わりやすく、この地方だけに雨が降ることも多い。この現象は昔から「みくりやのわたくし雨」と呼ばれている。

消防本部・消防署の沿革

昭和40.	4.	1	政令指定により、御殿場市萩原483番地に御殿場市消防本部・消防署を設置。御殿場市助役が消防長に就任し、職員33人（職員定数36人）指令車1台、消防ポンプ自動車1台、水槽付消防ポンプ自動車1台で業務開始
	5.	1	消防職員2人採用
昭和41.	4.	1	消防職員1人採用、職員数36人（職員定数36人）
昭和42.	4.	1	消防職員1人採用、職員数36人（職員定数36人）
	10.	1	消防職員4人採用、職員数40人（職員定数40人）
	11.	1	救急自動車（救急1号車）1台を購入 救急業務開始 小山町と救急業務に関する協定を締結し、小山町の救急業務開始
昭和43.	1.	1	消防職員1人採用
	4.	1	社団法人日本損害保険協会から消防ポンプ自動車が寄贈される
	6.	1	消防職員1人採用
	7.	11	財団法人日本消防協会から救急自動車（救急2号車）1台が寄贈され消防署に配置
昭和44.	3.	20	東名高速道路（御殿場～沼津インターチェンジ間の下り線）の救急等消防業務開始
	4.	1	消防職員10人採用、職員数49人（職員定数50人）
	4.	10	消防職員1人採用、職員数50人（職員定数50人）
	4.	13	社団法人日本損害保険協会から消防ポンプ自動車が寄贈される
	5.	26	東名高速道路（御殿場～大井松田インターチェンジ間の上り線）の救急等消防業務開始
昭和45.	4.	1	消防職員3人採用、職員数49人
昭和46.	4.	1	小山町との厚生施設組合を改組し、新たに常備消防業務を含めて御殿場市・小山町広域行政組合を設立 消防職員3人採用、職員数50人（職員定数72人）
昭和47.	1.	1	消防職員5人採用
	2.	1	消防職員6人採用
	4.	1	消防職員10人採用、職員数71人（職員定数72人） 御殿場市役所新庁舎開庁、併せて御殿場市・小山町広域行政組合新消防庁舎開庁、消防本部・消防署の業務開始 駿東郡小山町菅沼359番地の2に御殿場市・小山町広域行政組合消防署小山分署を設置。職員18人、消防ポンプ自動車1台、水槽付消防ポンプ自動車1台、救急自動車1台、指令車1台で業務開始
	4.	5	指令車1台と作業車1台を購入
	4.	21	社団法人日本損害保険協会から救急自動車（救急1号車）1台が寄贈され本署に配置
昭和48.	4.	1	消防職員4人採用、職員数71人（職員定数72人）
	7.	1	消防職員1人採用
	12.	19	水槽付消防ポンプ自動車1台を購入、本署に配置
昭和49.	2.	19	救助工作車1台を購入、本署に配置
	4.	1	消防職員4人採用、職員数76人（職員定数76人）
	5.	30	本署救急自動車（救急1号車）1台更新
	6.	1	本署救急自動車（救急1号車・救急2号車）の名称入替変更
昭和49.	9.	28	本署消防ポンプ自動車更新

	10.	1	富士岡地区の消防業務充実のために分遣所設置決定 設置されるまでの期間、仮設待機所を建設、職員3人、水槽付消防ポンプ自動車を昼間のみ配置して業務開始
昭和50.	4.	1	消防職員6人採用、職員数82人（職員定数82人） 社団法人日本損害保険協会から救急自動車（救急1号車）1台が寄贈され本署救急自動車（救急1号車）を更新 更新前本署救急自動車を（救急3号車）として配置
	9.	1	水難救助機器を購入
	9.	17	本署水槽付消防ポンプ自動車更新
	12.	17	小山分署指令車を広報車（広報2号車）として本部に配置 駿河信用金庫から指令車2台が寄贈され、消防本部（更新）と小山分署に配置
昭和51.	3.	19	消防本部広報車（広報1号車）更新
	4.	1	消防音楽隊を編成
	6.	21	消防水難救助隊を編成
	7.	8	化学消防ポンプ自動車を購入し、本署に配置
	10.	1	御殿場市中山473番地の1に御殿場市・小山町広域行政組合消防署富士岡分遣所を設置。職員10人、水槽付消防ポンプ自動車1台で業務開始
昭和52.	4.	1	消防職員4人採用、職員数84人（職員定数86人）
昭和53.	1.	1	消防職員1人採用
	3.	7	消防庁長官から竿頭綬受賞
	3.	20	救急一斉指令装置を導入、運用開始
	4.	1	通信指令室及び管理課企画広報係を新設
	8.	1	日本テトラパック(株)から赤バイ2台が寄贈され、本署に配置
	8.	29	財団法人日本船舶振興会から救急自動車1台寄贈され、小山分署救急自動車を更新
	9.	28	富士岡分遣所に作業車を配置 小山分署に作業車を配置
	10.	1	本署に作業車を配置
昭和54.	4.	1	消防職員5人採用、職員数90人（職員定数91人）
	4.	1	当直司令制度運用開始
	7.	24	静岡県トラック協会から救急自動車1台が寄贈され、本署救急自動車（救急2号車）を更新 更新前救急自動車（救急2号車）を予備車として富士岡分遣所に配置
	8.	8	消防本部広報車（広報2号車）更新
	10.	1	富士岡分遣所に職員2人増員 富士岡分遣所で救急業務開始
昭和55.	4.	1	消防職員13人採用、職員数102人（職員定数103人）
	11.	1	小山町須走293番地の1に御殿場市・小山町広域行政組合消防署須走分遣所を設置、職員13人、水槽付消防ポンプ自動車1台、救急自動車1台、連絡車1台で業務開始 各分遣所長を補佐級とする 富士岡分遣所の職員を1人増員 東海精機(株)から自記気象観測装置と消防無線機が寄贈される
	12.	19	高所放水作業車を購入、本署に配置
昭和56.	9.	21	社団法人日本損害保険協会から水槽付消防ポンプ自動車1台が寄贈され小山分署水槽付消防ポンプ自動車を更新
昭和56.	10.	31	本署救急自動車（救急1号車）と富士岡分遣所救急自動車を更新
	11.	16	小山分署消防ポンプ自動車更新
昭和57.	1.	1	消防職員1人採用

	3.	23	社団法人日本損害保険協会から救急自動車1台が寄贈され、小山分署救急自動車を更新
	4.	1	消防本部・消防署組織の機構改革実施、本部は管理課（管理係・消防係・企画広報係）・予防課（予防係・指導係・危険物係）・警防課（警防係・教養係）で構成、消防署は本署（庶務係・機械係・査察係・救急救助係・通信指令係）と、消防署小山分署、消防署富士岡分遣所、消防署須走分遣所で構成 本署当直に当直司令制採用、補佐が当直司令に当たる
	10.	19	財団法人日本防火協会から御殿場市小山町防火協会に広報車が寄贈され、消防本部広報車（広報3号車）として配置
昭和58.	2.	22	米軍キャンプ富士（滝ヶ原）司令官と消防相互援助協約を締結
	11.	1	富士岡分遣所水槽付消防ポンプ自動車更新
昭和59.	1.	1	消防長が専任となる
	4.	1	消防職員2人採用、職員数103人（職員定数103人）
	12.	21	本署消防ポンプ自動車更新
昭和60.	4.	1	消防職員3人採用、職員数106人（職員定数111人）
	12.	9	消防本部指令車更新
	12.	25	小山分署作業車更新
昭和61.	1.	14	本署作業車更新
	3.	14	社団法人日本損害保険協会から救急自動車1台が寄贈され、本署救急自動車（救急2号車）更新
	4.	1	消防職員4人採用、職員数108人（職員定数111人） 消防本部に通信指令室を置き、管理課消防係を警防課に編入、消防署機械係を警防係に名称変更
	6.	20	富士岡分遣所の作業車更新
	8.	29	査察車を1台購入、予防課に配置
昭和62.	3.	12	米軍キャンプ富士（滝ヶ原）司令官と消防相互援助協約を変更締結
	3.	30	本署水槽付消防ポンプ自動車更新
	4.	1	消防職員5人採用、職員数114人（職員定数119人） 消防本部管理課に人事係新設
	4.	24	本署水槽付消防ポンプ自動車更新により不要になった水槽付消防ポンプ自動車を中国蘭州市へ寄贈
	12.	1	消防職員1人採用
	12.	24	本署救急自動車（救急1号車）、消防本部広報1号車更新 東名高速道路（御殿場～沼津インターチェンジ間の下り線）の消防及び救急業務が裾野インターチェンジ開設に伴い御殿場～裾野インターチェンジ間の下り線に変更される
昭和63.	4.	1	消防職員3人採用、職員数（御市総務課付職員1人含）116人（職員定数119人）
	7.	23	赤バイ2台を老朽化により廃車
	10.	21	須走分遣所救急自動車更新
	11.	29	東名上り線63KPで発生した車両火災（06：32）に出動中の本署水槽付消防ポンプ自動車が続行中に追突され横転大破、消防職員5人が負傷
	12.	17	小山分署指令車更新
平成 元.	1.	7	消防本部広報車（広報2号車）更新
平成 元.	4.	1	消防職員1人採用、職員数（御市総務課付職員1人含）116人（職員定数119人）小山分署で小山町消防団事務開始
	6.	29	本署水槽付消防ポンプ自動車更新
平成 2.	2.	14	本署救助工作車更新
	3.	22	富士岡分遣所救急自動車更新

	4.	1	消防職員 5 人採用、職員数（御市総務課付職員 1 人含） 1 2 0 人 （職員定数 1 1 9 人）
	9.	2 5	須走分遣所連絡車更新
平成	3.	3. 1 2	本署化学消防ポンプ自動車更新
		3. 1 5	小山分署救急自動車更新
	4.	1	消防職員 4 人採用、職員数（御市総務課付職員 1 人含） 1 2 0 人 （職員定数 1 1 9 人）
	9.	1 2	社団法人日本損害保険協会から水槽付消防ポンプ自動車 1 台が寄 贈され、富士岡分遣所水槽付消防ポンプ自動車を更新
平成	4.	2. 1 0	本署救急自動車（救急 1 号車）更新
		3. 1 9	小山分署水槽付消防ポンプ自動車更新
	4.	1	消防職員 1 人採用、職員数（御市総務課付職員 1 人含） 1 2 0 人 （職員定数 1 1 9 人）
	8.	3 1	新消防庁舎工事起工式
平成	5.	3. 1 5	本署救急自動車（救急 2 号車）更新
		3. 2 2	須走分遣所水槽付消防ポンプ自動車更新
	4.	1	消防職員 2 人採用、職員数（御市総務課付職員 1 人含） 1 2 2 人 （職員定数 1 3 4 人）
			完全週休 2 日制実施
平成	6.	4. 1	御殿場市と係長級 1 名の人事交流を実施 消防職員 7 人採用、職員数（御市総務課付職員 1 人含） 1 2 6 人 （職員定数 1 3 4 人）
	4.	2	御殿場市東田中一丁目 1 9 番 1 号に消防庁舎が移転し、業務開始 消防緊急通報指令施設（Ⅱ型）運用開始 静岡県総合情報ネットワーク運用開始
	4.	2 2	御殿場市小山町危険物安全協会、御殿場市小山町防火協会から広 報車 1 台寄贈され消防本部広報車（広報 3 号車）更新
	4.	2 8	消防庁舎落成式
	7.	2 7	消防無線救急波の運用開始
	1 1.	1 8	はしご付消防ポンプ自動車（3 0 m級）を購入し、本署に配置し 本署高所放水作業車廃車
平成	7.	1. 3 1	小山分署消防ポンプ自動車更新
	4.	1	消防職員 6 人採用、職員数（御市総務課付職員 1 人含） 1 3 1 人 （職員定数 1 3 4 人）
	6.	3 0	全国消防機関による緊急消防援助隊発足（東京）
	7.	3 1	化学防護服（ワークマスタープロ） 3 着購入
	8.	2 0	聴覚言語障害者の緊急通報システム運用開始
	8.	2 2	静岡県緊急消防援助隊の編成にかかる協議の結果、御殿場小山消 防本部は、消火隊 1 隊を県外応援可能隊とする
	9.	5	静岡県は、緊急消防援助隊を編成し消防庁に登録 御殿場市・小山町広域行政組合消防本部消火隊は、常時出動可能 体制維持開始
	1 0.	1 8	震災対策用後方支援資機材（テント・シュラフ等）購入
	1 0.	1 9	特殊作業服（戦闘用防護衣一式） 1 2 着購入
平成	7.	1 0. 3 0	緊急消防援助隊要綱制定 御殿場市・小山町広域行政組合消防本部に部隊旗が交付
	1 1.	2 7	小山分署作業車更新
平成	8.	3. 1 1	本署消防ポンプ自動車更新
		3. 2 2	震災対策用救助資機材（油圧救助器具等）購入
	4.	1	消防職員 5 人採用、職員数（御市総務課付職員 1 人含） 1 3 3 人 （職員定数 1 5 0 人）

			東名高速道路上り線無線不感地帯対策として前進基地局整備
	6.	5	富士岡分遣所連絡車更新
	7.	2	震災対策用救助資機材（ファイバースコープ等）購入
			災害情報収集用オートバイ2台購入
	7.	3 1	消防本部指令車更新
	8.	3 1	静岡県総合防災訓練
	9.	1	静岡県総合防災訓練
平成 9.	2.	1 3	小山分署庁舎増築工事 259.24㎡
	2.	1 8	須走分遣所救急車（2B型）更新
	4.	1	消防職員4人採用、職員数（御市総務課付職員1人含）137人 （職員定数150人）
	6.	2 0	西分遣所庁舎建設工事起工式
平成10.	1.	2 5	西分遣所応急作業車購入
	2.	1 2	西分遣所水槽付消防ポンプ自動車購入
	2.	2 3	西分遣所救急車（2B型）購入
	3.	1 4	西分遣所庁舎建設工事落成式
	4.	1	消防職員8人採用（内女性2人）、職員数（御市総務課付職員1人 含）144人（職員定数150人）
			西分遣所運用開始 職員15名配置
	1 1.	3 0	富士岡分遣所庁舎耐震補強及び事務所増築工事16.71㎡
平成11.	3.	1 6	小山分署救助工作車購入
	4.	1	消防職員4人採用、職員数（御市総務課付職員1人含）147人 （職員定数150人）
			消防本部・消防署の組織改革により課内のスタッフ制全面移行
	8.	1 8	消防本部査察車更新
	1 2.	2 1	須走分遣所庁舎耐震補強及び事務所増築工事17.57㎡
平成12.	2.	2 4	高規格救急自動車を購入し本署に配置、更新前の救急車を富士岡 分遣所に配置し、富士岡分遣所の救急自動車を廃車
	4.	1	消防職員3人採用（内女性1人）、職員数（御市総務課付職員1人 含）149人
	1 1.	1 5	社団法人日本損害保険協会から水槽付消防ポンプ自動車1台が寄 贈され、本署水槽付消防ポンプ自動車を更新
平成13.	3.	1 6	小型動力ポンプ付水槽車を購入、本署に配置
	4.	1	消防職員6人採用、職員数（御市総務課付職員1人含）150人
	1 2.	1 4	小山分署指令車更新
	1 2.	1 5	小山分署耐震補強工事完了
	1 2.	2 1	本部広報1号車更新
平成14.	4.	1	消防職員3人採用、職員数（御市総務課付職員1人含）150人 消防機構を見直し、小山分署を小山消防署とし、富士岡分遣所を 富士岡分署とし、須走分遣所を須走分署とし、西分遣所を西分署と する
	9.	4	須走分署作業車更新
	1 1.	1 9	消防本部広報2号車更新
平成15.	2.	2 6	小山消防署救急車更新（高規格救急車）
平成15.	4.	1	消防職員3人採用、職員数（御市総務課付職員1人含）148人 御殿場市役所派遣1人
平成16.	3.	1 0	御殿場消防署富士岡分署救急車更新（高規格救急車）
	4.	1	消防職員5人採用、職員数148人（御殿場市役所派遣1人）
平成17.	2.	7	御殿場消防署救助工作車更新（Ⅱ型四駆）
	4.	1	消防職員2人採用、職員数147人（御殿場市役所派遣1人）
	1 2.	2 0	御殿場ライオンズクラブから火災予防広報車が寄贈され、消防本 部連絡車を更新

平成18.	2. 16	御殿場消防署西分署救急車更新（高規格救急車）
	3. 15	小山消防署訓練塔建設 A・B塔 建築面積61.6㎡
	4. 1	消防職員7人採用、職員数147人（静岡県消防学校派遣1人）
平成19.	2. 16	御殿場消防署富士岡分署水槽付ポンプ自動車更新
	3. 9	小山消防署水槽付ポンプ自動車更新
	4. 1	消防職員5名採用、職員数149人（静岡県消防学校派遣1人）
平成20.	3. 13	小山消防署須走分署水槽付ポンプ自動車更新
	4. 1	消防職員3人採用、職員数148人（御殿場市役所派遣1人） 須走彰徳山林会からAED及びAED講習会用資器材一式が寄贈される
	11. 11	御殿場市小山町防火安全協会から防火指導車が寄贈される
平成21.	4. 1	消防職員4人採用、職員数150人（御殿場市役所派遣1人）
	12. 11	小山消防署作業車更新
平成22.	3. 16	消防緊急通信指令施設Ⅱ型更新
	4. 1	消防職員5人採用、職員数152人（御殿場市役所派遣1人）
	10. 22	小山消防署須走分署救急車更新（高規格救急車）
	11. 15	全国共済農業協同組合連合会静岡県本部及び御殿場農業協同組合から救急車が寄贈され、御殿場消防署救急1号車を更新（高規格救急車）
平成23.	2. 24	御殿場消防署化学消防ポンプ自動車（Ⅱ型）更新
	4. 1	消防職員4人採用、職員数151人（御殿場市役所派遣1人）
平成24.	2. 8	御殿場消防署救急車更新（高規格救急車）
	3. 1	静岡県防災ヘリコプター航空隊派遣1名
	4. 1	消防職員4人採用、職員数153人（御殿場市役所派遣1人）
	7. 30	消防本部査察車更新
平成25.	2. 22	小山消防署救急車更新（高規格救急車）
	2. 27	総務省消防庁から後方支援車が貸与された
	4. 1	消防職員5人採用、職員数155人（御殿場市役所派遣2人）
平成26.	2. 21	小山消防署消防ポンプ自動車更新
	2. 25	御殿場消防署富士岡分署救急車更新（高規格救急車）
	3. 4	土屋昌美様から軽貨物自動車が寄贈され、御殿場消防署富士岡分署作業車を更新（ダイハツ軽トラック1台）また、救急資機材も寄贈された（エアウェイスコープ2台）
	3. 31	団塊の世代 消防職員10人が退職する
	4. 1	消防職員5人採用、職員数151人（御殿場市役所派遣1人）
平成27.	2. 18	御殿場消防署消防ポンプ車更新
	4. 1	消防職員6人採用、職員数151人（御殿場市役所派遣2人）
	12. 15	消防デジタル無線運用開始
平成28.	4. 1	消防職員6人採用、職員数153人（御殿場市役所派遣2人）
	11. 16	消防本部指令車更新
平成29.	2. 20	御殿場消防署西分署水槽付ポンプ自動車更新
	4. 1	消防職員6人採用（内女性1人）、職員数153人（御殿場市役所派遣1人、広域行政組合事務局出向1人）
平成30.	2. 7	小山消防署救助工作車更新
	2. 15	御殿場消防署指揮車更新
	4. 1	消防職員8人採用、職員数152人（御殿場市役所派遣1人、広域行政組合事務局出向1人）
平成30.	6. 15	小山消防署須走分署作業車更新
平成31.	1. 17	消防本部予防課広報車更新
	1. 30	御殿場消防署西分署救急車更新

- 4. 1 消防職員4人採用、職員数153人（御殿場市役所派遣1人、
広域行政組合事務局出向1人、五輪組織委員会派遣1人、県消防学
校派遣1人）
- 令和 2. 1. 28 御殿場消防署水槽付消防ポンプ自動車更新
- 2. 6 御殿場消防署作業車を更新し、資機材搬送車を整備
- 4. 1 消防職員8人採用、職員数158人（再任用職員1人、御殿場市役
所派遣1人、広域行政組合事務局出向1人、五輪組織委員会派遣1人、
県消防学校派遣1人）

主 な 災 害

- 昭和41. 3. 5 富士山麓太郎坊原野に英国海外航空（BOAC）ボーイング707型機が墜落し乗員乗客124人全員死亡
9. 24～25 台風24号と26号が日本列島を縦断する 御殿場市の被害は負傷者2人、住家全壊6戸、半壊382戸、床下浸水多数、罹災世帯2,231世帯、罹災者11,155人、被害総額6億9,109万円
御殿場市に初めて「災害救助法」適用
小山町では家屋の倒壊15戸、床下浸水17戸、田畑の流出・埋没33ヶ所、被害総額は3,062万円
- 昭和43. 1. 10 御殿場市新橋（御殿場駅前繁華街）から出火 重軽症者8人、焼損棟数18棟、焼失面積1,106㎡、損害額8,006万円
- 昭和45. 11. 2 御殿場市川島田の中学校から出火 焼失面積560㎡、損害額1,435万円
- 昭和46. 9. 22 御殿場市東田中の給油取扱所から出火 死者1人、重軽傷者3人、焼失面積207㎡、損害額821万円
11. 1 御殿場市駒門（自衛隊前飲食店街）から出火 死者1人、焼損棟数6棟、焼失面積623㎡、損害額3,017万円
- 昭和47. 2. 1 東名高速道路下り線94.5KPで、車両37台の多重追突事故により出火 死者2人、重軽傷者31人、焼損車両7台、損害額5,500万円
3. 20 富士山新2合目付近の雪崩遭難事故により、死者24人、延べ出動人員約4,000人、現場稼働車両等65台
7. 12 静岡県東部に集中豪雨 御殿場市では床上・床下浸水138世帯、田畑の流出冠水等672ha、被害総額2億5,393万円
小山町では死者2人、災害出動中の消防団員1人が行方不明、負傷者8人、住家全壊29戸、流失4棟、非住家全半壊18戸、床上浸水210戸、罹災世帯250世帯 罹災者数1,713人、被害総額23億306万円
- 昭和48. 11. 23 小山町大御神のレース場でレーシングカー事故により出火死者1人、負傷者4人、レーシングカー全焼4台
損害額2億3,679万円
- 昭和49. 6. 2 小山町大御神のレース場でレーシングカー事故により出火死者2人、負傷者5人、レーシングカー4台全焼、レーシングカー3台部分焼、損害額4,328万円
- 昭和50. 12. 4 御殿場市大坂の工場（スチール家具製造）から出火 焼失面積1,440㎡、損害額1億2,500万円
12. 12 御殿場市大坂の工場（シール製造）から出火 機械等を焼失、焼失面積320㎡、損害額3,000万円
- 昭和53. 1. 1 御殿場市中清水の神社より出火 焼失面積79㎡
損害額1,900万円
3. 25 御殿場市新橋（新天地OK横丁）から出火。15店舗及び1旅館が焼失、焼失面積777㎡、損害額4,500万円
- 昭和54. 2. 18 御殿場市新橋（御殿場駅前味一番街）から出火。7店舗焼失、焼失面積316㎡、損害額1,604万円
10. 19 台風20号による御殿場市の被害は、住宅全壊10戸、半壊4戸、流失1戸、床上浸水42戸、床下浸水810戸で、総雨量300mm、損害額23億394万円
- 昭和54. 10. 19 この豪雨で米軍キャンプ富士敷地内のガソリン貯蔵袋が破損し、大量のガソリンが立ち並ぶ兵舎内に流入し、ストーブの火により

- 出火、隣接する建物に次々に引火し、死傷者約50人、焼損棟数全焼14棟、半焼1棟、部分焼3棟、延焼失面積1,385㎡、損害額2,982万円
- 小山町の被害は、死者1人、住家全壊5戸、半壊2戸、一部破損3戸、非住家全壊4戸、半壊3戸、流失3戸、一部破損1戸、床上浸水33戸、床下浸水129戸、損害総額27億4,823万円、総雨量237mm
12. 15 御殿場市新橋（駅前中野交差点付近商店街）から出火 焼失5店舗、焼失面積1,342㎡、損害額1億7,000万円
- 昭和55. 7. 24 小山町小山の工場（紡績）で落雷により出火 焼失面積135㎡ 損害額3,378万円
- 昭和56. 9. 5 陸上自衛隊のヘリコプターが御殿場市中畑地先の演習場内に墜落 2人死亡
- 昭和57. 6. 8 神奈川県大井町へ行方不明者捜索出動 他57年中に5件の行方不明者の捜索出動
8. 1 台風10号による御殿場市の被害は、住家半壊5戸、一部破損1戸、床上浸水21戸、床下浸水107戸、損害総額18億530万円、総雨量555mm
- 小山町の被害は住家全壊2戸、住家半壊3戸、一部破損35戸、床上浸水7戸、床下浸水84戸、損害総額36億9,850万円 総雨量457mm
- 昭和58. 3. 11 小山町茅沼の公民館から出火 焼損棟数1棟、焼失面積106㎡ 損害額1,152万円
8. 8 神奈川県西部を震源に、M5.8、震度5程度の地震が発生 御殿場市では家屋及び石垣等の被害4ヶ所 小山町では軽傷者1人、家屋道路、橋梁、河川、農業施設、農地、文教公共施設、水道、電気通信、企業等157ヶ所の被害、被害総額4億4,775万円
- 昭和59. 9. 28 御殿場市茱萸沢の工場で100円ガスライターのガス漏洩により出火 焼損棟数3棟、焼失面積362㎡、ライター164万個焼失、損害額5,512万円
- 昭和60. 5. 5 御殿場市茱萸沢の工場から出火 焼損棟数1棟、焼失面積427㎡ ライター216万個焼失、損害額9,031万円
12. 13 御殿場市保土沢の工場（車両座席シート製造）から出火 焼損棟数1棟、焼失面積189㎡、損害額2,836万円
- 昭和61. 3. 8 小山町須走でトラックの積載品が荷くずれ落下し、積載品100円ガスライターのガス漏洩により出火 焼損車両1台、ライター15万6千個を焼失、損害額486万円
- 昭和63. 10. 25 小山町須走の東富士五湖道路籠坂トンネル工事現場で、時限発火装置により出火、工事車両3台が焼失、損害額268万円
10. 28 御殿場市沼田の集会場から出火 焼失面積84㎡、損害額1,065万円
11. 4 御殿場茱萸沢でトラックが荷くずれを起こし、積載品の100円ガスライターからの漏洩したガスにより出火 焼損車両1台、ガスライター13万6千個を焼失、損害額343万円
- 平成 3. 6. 22 御殿場市川島田の作業所（車庫）で不発弾の爆発事故 この事故に伴い出火 死者2人、現場付近にいた主婦等3名が負傷、焼損棟数全焼1棟、付近の民家14戸の窓ガラスが割れる被害、焼失面積199㎡、損害額2,132万円
- 平成 7. 4. 20 金時山頂で急病人 救助隊が出動、救出活動（救出1名）
- 平成 7. 6. 1 金時山頂付近で中学生滑落事故 救助隊が出動、県警・防災ヘリコプターと連携し救出（救出1名）

8. 10 東名高速道路上り線64.9KPで発生した交通事故で、大型観光バスが大破 バスの乗員乗客43人（死者3人、重軽症者40人）を足柄上消防、神奈川県警高速隊、道路公団と連携し救出（使用車両20台、人員45人）
- 平成 8. 3. 6 東京電力（株）新富士変電所で地震動により変圧器から絶縁油が漏れアークにより出火、損害額2,200万円
- 平成11. 11. 15 御殿場市萩原地先で建設中の木造3階建て教場及び共同住宅から出火、焼損棟数1、焼損面積1,950㎡、車両16台焼失、損害額6億413万円
- 平成12. 12. 16 御殿場市神山地先から出火、鉄骨造平屋2棟を焼失、焼損棟数2棟焼損面積356.4㎡、車両1台、損害額3,075万円
12. 30 小山町小山地先の店舗併用住宅から出火、焼損建物店舗併用住宅3棟、物置2棟を焼失、焼損面積440.94㎡、損害額2,472万円
- 平成13. 7. 24 鉄砲水の久保川で富士岡中学校生徒1名が行方不明、消防団、消防署、県防災ヘリコプターが出動、捜索（捜索人員延べ530人）
7. 25 水難救助隊により、水死者1名を発見収容
- 平成14. 3. 1 平成13年9月11日、米国の同時多発テロ事件に伴い、総務省消防庁より、生物・化学テロ対応資機材として陽圧式化学防護服5着、生物剤検知紙1式、有毒ガス検知管1式、化学剤検知紙1式、化学剤検知管1式、除染シャワー1式、中和剤散布器2器、防毒マスク18式を貸与
- 平成15. 5. 3 御殿場市中畑で不発弾爆発事故 死者1名
- 平成16. 1. 14 国道246号線、萩原北交差点付近にて大型貨物自動車8台による多重追突事故 救助工作車2台、ポンプ隊（水槽付消防ポンプ車）2隊、救急隊5隊、隊員25人が出動し、4名の要救助者を救出
10. 21 御殿場市深沢地先、のんと橋、台風23号の影響で男性1名が水死 救助工作車1台、消防ポンプ自動車1台、指令車1台、資機材搬送車1台、救急車1台、隊員24人が出動
12. 5 台風27号の影響で御殿場市塚原地先にて家屋が倒壊、負傷者3名、救急隊1隊3人が出動
- * 平成16年の台風上陸個数は、気象庁の統計開始以来の記録（6個）を大きく更新し10個を記録
- 平成17. 8. 15 富士山御殿場口、大石茶屋付近にパラグライダーが墜落。指揮車1台救急車1台、山岳救助班2隊が出動
9. 13 国道138号線、仁杉バス停付近にて自衛隊トレーラーによる多重追突事故 救助工作車1台、化学車1台、救急車5台が出動し負傷者12名を搬送
- 平成18. 4. 2 東名高速道路下り線91.1KP付近にて9台が関連した多重事故 救助工作車2台、消防ポンプ自動車2台、救急車4台、他に裾野市消防本部救助工作車1台、救急車1台、長泉町消防本部救急車1台、三島市消防本部救急車1台、沼津市消防本部救急車1台の応援出動により、負傷者13名（要救助者7名）を搬送
- 平成19. 9. 6 台風9号による御殿場市の被害は床上浸水13戸、床下浸水31戸、特に富士岡地区は黄瀬川の氾濫により、甚大なる被害を受ける 被害総額3億4千百万円 総雨量631mm 小山町は鮎沢川の氾濫により、生土地区の護岸の破壊をはじめ、各所で甚大なる被害となる 被害総額3億8千4百万円 総雨量338mm
- 平成20. 6. 11 御殿場市新橋地先の商店街から出火、全焼1棟、部分焼3棟、焼損面積325㎡、損害額6,765万円
- 平成20. 12. 6 金時山乙女側登山道山頂付近で急病人、箱根町消防、御殿場消防が出動、県防災ヘリコプターと連携し、1名を救出

- 平成21. 11. 1 富士スピードウェイ内ドリフトコース駐車場で卓上コンロ爆発事故、6名が負傷。指揮車1台、消防車2台、救助工作車1台、救急車3台、ドクターヘリ3機(東部・西部・東海大)出動
11. 16 須走オートパラダイス付近で観光バスと乗用車の正面衝突事故、9名が負傷 指揮車1台、消防車1台、救助工作車1台、救急車5台出動
- 平成22. 9. 8 小山消防署管内風水害災害、台風9号の影響で野沢川の氾濫により、小山地区下野沢橋が決壊し、藤曲地区の六合橋付近の護岸の破壊及び須川の氾濫により養魚場が破壊された。また柳島地区の町道足柄三保線が決壊するなど各所で甚大なる被害となる
 なお、この災害による小山町の被害は、住宅全壊6件、大規模半壊7件、半壊18件、床上浸水14件、その他全壊8件、その他大規模半壊2件、その他半壊6件、その他床上11件、床下浸水94件、その他床下13件土砂崩れ92件、水路被害32件、護岸決壊14件、道路崩落29件、河川被害12件、倒木6件、土嚢要請24件、通行止め21箇所、断水なし、停電なし
 時間雨量最大 97.0mm 総雨量367.0mm (小山消防署)
 時間雨量最大127.5mm 総雨量593.5mm (小山消防署須走分署)
- 平成23. 8. 21 東名高速道路上り線65.2KPでワゴン車の単独横転事故が発生し、1名死亡、9名が負傷 指揮車1台、消防車1台、救助工作車1台、救急車5台、隊員23名が出動し負傷者9名を搬送
9. 21 台風15号(浜松市上陸)の影響で市町内各地において、風水害の被害が発生した。特に御殿場市では、最大瞬間風速45.9m/sを記録し、家屋の一部破損10棟、倒木などの風による被害が目立ち、負傷者も3名発生した 停電(御殿場市8区 小山町3区)
 時間雨量最大54.5mm 総雨量363mm (御殿場消防署西分署)
 時間雨量最大63.5mm 総雨量484mm (小山消防署須走分署)
- 平成26. 2. 14 低気圧接近に伴い大雪警報発令10:53 市町内各地において、大雪による被害が発生した。
 小山町では小山消防署管内の積雪量が61cm 須走分署管内の積雪量は100cmで須走東災害対策センターに現地災害対策本部が設置され、小山町長から県知事へ自衛隊災害要請をする。
 御殿場市では御殿場消防署管内の積雪量が85cm 富士岡分署管内の積雪量が55cm 西分署管内の積雪量が59cmで御殿場市災害対策本部が設置された。

道路の規制状況

道路名	通行止め区間	開始日時	解除日時
東名高速道路	上り(東京IC~清水IC)	15日02:45	16日22:00
	下り(東京IC~沼津IC)	16日13:30	16日22:00
新東名高速道路	上下(御殿場JCT~長泉沼津IC)	14日09:00	17日17:10
東富士五湖道路	上下(須走IC~富士吉田IC)	14日12:20	20日00:00
国道246号	通行止めなし。ただし片側1車線のみ通行可の時間帯があった。		
国道138号	深沢東~県境(乙女峠、静岡県管理)	15日00:00	20日15:00
	山中湖村平野~小山町須走	15日01:15	18日21:00

公共交通機関の状況

JR御殿場線	17日 始発から通常運行
富士急行バス(路線バス)	22日 上野線(24日再開)を除き 運行再開
タクシー会社	17日 営業再開

- 平成27. 11. 27 JR御殿場駅周辺市街地である御殿場市茱萸沢地先の住宅から出火、全焼1棟、焼損面積80㎡、損害額476万円、死者1名

- 平成28. 5. 26 小山町中日向地先の住宅から出火、全焼1棟、焼損面積196㎡、損害額381万円、死者1名
- 平成29. 2. 11 御殿場市中丸地先の住宅から出火、全焼1棟、焼損面積164㎡、損害額2,136万円、死者1名
- 令和 1. 6. 29 小山町棚頭地先の工場（製材）から出火、全焼1棟、焼損面積43㎡、損害額1,037万円
10. 2 御殿場市御殿場地先の学校から出火、収容物のみ焼損、損害額18万円、負傷者5名
10. 12 台風19号の影響で管内各地において、風水害が発生した。
御殿場市では、中清水地先で増水した用水路付近で作業していた男性2人が流され、うち1名は消防隊により救助されたが、もう1名が行方不明となり、地域住民、消防団、消防署、警察、自衛隊、海上保安庁、消防防災ヘリコプター等、延べ290人が9日間捜索に当たるほか、土砂崩れ4件、住宅被害13件、その他にも倒木、道路の冠水などの被害が発生
小山町では、小山地先の社会福祉施設に大量の土砂が流入し、自衛隊消防、消防団、ボランティアなど約200人が土砂の撤去に当たる。また、鮎沢川の護岸が崩れ、県営住宅の真横まで河川が迫るほか、土砂崩れ35件、家屋損壊・浸水14件、道路損壊25件、護岸崩落4件発生
時間雨量最大44.5mm 総雨量557mm（御殿場消防署）
時間雨量最大41.0mm 総雨量503mm（御殿場消防署富士岡分署）
時間雨量最大77.0mm 総雨量647mm（小山消防署）
10. 20 行方不明であった1名が、沼津市内の海岸において水死者として発見される。
12. 5 御殿場市仁杉地先の住宅から出火、全焼1棟、焼損面積213㎡、損害額3,298万円、負傷者2名

御殿場市・小山町広域行政組合の沿革・組織

組織する地方公共団体 御殿場市及び小山町

沿 革

昭和41年4月1日	御殿場市・小山町厚生施設組合発足 じんかい焼却場、隔離病舎及び火葬場業務の管理運営に関する事務を共同処理開始
昭和46年4月1日	小山町との御殿場市・小山町厚生施設組合を改組し、新たに消防業務を加え御殿場市・小山町広域行政組合を設立
昭和48年7月5日	隔離病舎を廃止
昭和51年4月1日	し尿処理業務を加える (1) 消防に関する事項 (消防団に係るもの並びに水利施設の設置維持及び管理に関するものを除く) (2) 火葬場に関する事項 (3) じんかい焼却場に関する事項 (4) し尿処理に関する事項
平成10年4月1日	じんかい焼却場をごみ処理場に変更

組織の状況

(1) 執行機関

管 理 者	1名	御殿場市・小山町の長の互選による 任期 御殿場市・小山町のその職にある期間
副 管 理 者	2名	御殿場市・小山町の長のうち管理者とならないもの 市町の副市町長のうちから選出 任期 御殿場市・小山町のその職にある期間
会 計 管 理 者	1名	管理者の属する市町の会計管理者
監 査 委 員	2名	議会選出、学識経験者 任期 2年

(2) 議 会

定 数	12名	御殿場市・小山町の議会において市町の議会の議員のうちから選挙する 御殿場市 7名 小山町 5名
定 例 会	毎年2回	3月及び9月

消防本部発足以降歴代市長・管理者・消防長・消防署長

市 長

昭和40年	4月	1日	～	昭和44年	2月	6日	勝又藤男
昭和44年	2月	7日	～	昭和46年	3月	31日	鈴木勝巳

管 理 者

昭和46年	4月	1日	～	昭和56年	2月	6日	鈴木勝巳(御殿場市長)
昭和56年	2月	7日	～	平成5年	2月	6日	大庭健三(御殿場市長)
平成5年	2月	7日	～	平成13年	2月	6日	内海重忠(御殿場市長)
平成13年	2月	7日	～	平成21年	2月	6日	長田開蔵(御殿場市長)
平成21年	2月	7日	～	現		在	若林洋平(御殿場市長)

消 防 長

昭和40年	4月	1日	～	昭和44年	3月	31日	木村賢(御殿場市助役)
昭和44年	4月	1日	～	昭和52年	3月	31日	子上孝吉(御殿場市助役)
昭和52年	4月	1日	～	昭和52年1	2月	11日	鈴木勝巳(御殿場市長)
昭和52年1	2月	12日	～	昭和57年	3月	31日	江藤泰勝(御殿場市総務部長)
昭和57年	4月	1日	～	昭和58年	3月	31日	後藤尚平(御殿場市総務部長)
昭和58年	4月	1日	～	昭和58年1	2月	31日	関口達夫(消防長事務代理)
昭和59年	1月	1日	～	昭和63年	3月	31日	関口達夫
昭和63年	4月	1日	～	平成4年	3月	31日	田代哲朗
平成4年	4月	1日	～	平成7年	3月	31日	羽田督
平成7年	4月	1日	～	平成10年	3月	31日	勝間田喜代弘
平成10年	4月	1日	～	平成12年	3月	31日	長田勇
平成12年	4月	1日	～	平成15年	3月	31日	長田洋一
平成15年	4月	1日	～	平成18年	3月	31日	勝間田嘉雄
平成18年	4月	1日	～	平成19年	3月	31日	平野昭弘
平成19年	4月	1日	～	平成23年	3月	31日	鈴木平作
平成23年	4月	1日	～	平成26年	3月	31日	長田利一
平成26年	4月	1日	～	平成28年	3月	31日	渡邊秀晃
平成28年	4月	1日	～	平成30年	3月	31日	田代佳丸
平成30年	4月	1日	～	令和2年	3月	31日	村松秀樹
令和2年	4月	1日	～	現		在	勝間田誠司

消 防 署 長

昭和40年	4月	1日	～	昭和45年	3月	31日	鳥居恭男
昭和45年	4月	1日	～	昭和52年	3月	31日	勝亦豊
昭和52年	4月	1日	～	昭和56年1	2月	31日	芹沢勇一
昭和57年	1月	1日	～	昭和59年	3月	31日	田代哲朗
昭和59年	4月	1日	～	昭和61年	3月	31日	勝亦延夫
昭和61年	4月	1日	～	平成1年	3月	31日	鈴木幸助
平成1年	4月	1日	～	平成3年	3月	31日	三井一郎
平成3年	4月	1日	～	平成6年	3月	31日	増田眞助
平成6年	4月	1日	～	平成7年	3月	31日	長田勇
平成7年	4月	1日	～	平成10年	3月	31日	長井傳嘉
平成10年	4月	1日	～	平成12年	3月	31日	鈴木喜久
平成12年	4月	1日	～	平成14年	3月	31日	勝又昭雄

御殿場消防署長

平成14年	4月	1日	～	平成17年	3月31日	齊藤伊三男
平成17年	4月	1日	～	平成18年	3月31日	平田敏雄
平成18年	4月	1日	～	平成19年	3月31日	芹澤民雄
平成19年	4月	1日	～	平成23年	3月31日	勝又敏美
平成23年	4月	1日	～	平成24年	3月31日	芹沢裕司
平成24年	4月	1日	～	平成26年	3月31日	田邊修
平成26年	4月	1日	～	平成27年	3月31日	梶本雅彦
平成27年	4月	1日	～	平成28年	3月31日	田代公一
平成28年	4月	1日	～	平成29年	3月31日	村上武
平成29年	4月	1日	～	平成30年	3月31日	勝間田淳欣
平成30年	4月	1日	～	平成31年	3月31日	岩田誠修
平成31年	4月	1日	～	現	在	谷中修

小山消防署長

平成14年	4月	1日	～	平成15年	3月31日	勝間田嘉雄
平成15年	4月	1日	～	平成17年	3月31日	平田敏雄
平成17年	4月	1日	～	平成18年	3月31日	山口富雄
平成18年	4月	1日	～	平成19年	3月31日	勝又敏美
平成19年	4月	1日	～	平成22年	3月31日	込山久美
平成22年	4月	1日	～	平成23年	3月31日	長田利一
平成23年	4月	1日	～	平成24年	3月31日	田邊修
平成24年	4月	1日	～	平成26年	3月31日	芹澤栄
平成26年	4月	1日	～	平成27年	3月31日	勝間田健一郎
平成27年	4月	1日	～	平成29年	3月31日	山本孝信
平成29年	4月	1日	～	平成30年	3月31日	佐藤清治
平成30年	4月	1日	～	現	在	込山真治

御殿場市・小山町歴代消防団長

御 殿 場 市

(昭和30年以降)

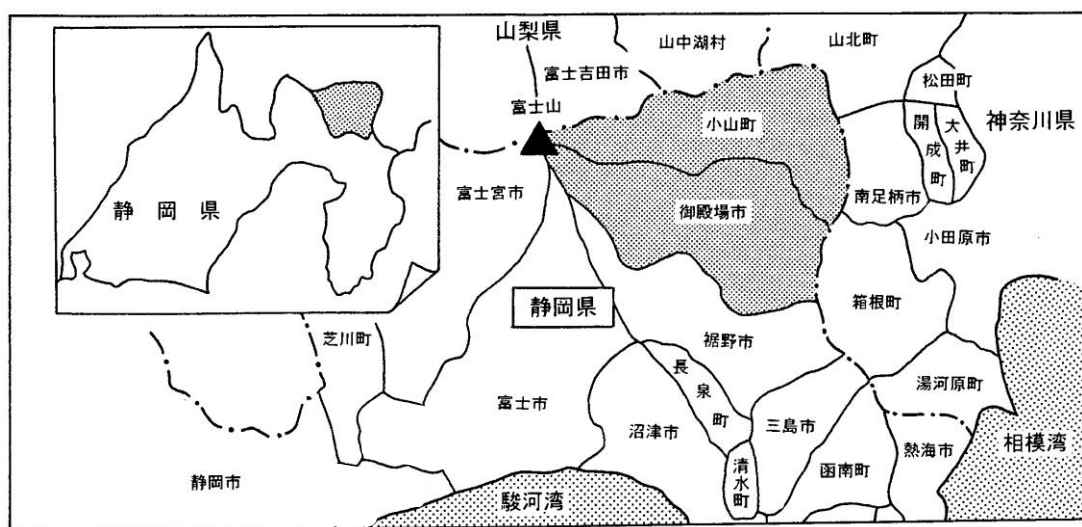
昭和30年	2月11日	～	昭和40年	3月31日	江 藤 栄
昭和40年	4月 1日	～	昭和53年	3月31日	今 坂 勝 利
昭和53年	4月 1日	～	昭和60年	3月31日	勝 亦 茂 樹
昭和60年	4月 1日	～	平成 1年	3月31日	土 屋 勝
平成 1年	4月 1日	～	平成 5年	3月31日	野 木 国 員
平成 5年	4月 1日	～	平成 7年	3月31日	穂 坂 昭 夫
平成 7年	4月 1日	～	平成13年	3月31日	長 田 良 一
平成13年	4月 1日	～	平成17年	3月31日	勝 俣 清 一
平成17年	4月 1日	～	平成21年	3月31日	高 田 知
平成21年	4月 1日	～	平成25年	3月31日	勝 間 田 千 弘
平成25年	4月 1日	～	平成29年	3月31日	勝 亦 修 治
平成29年	4月 1日	～	令和 2年	3月31日	大 胡 田 明 寿
令和 2年	4月 1日	～	現	在	勝 又 充 夫

小 山 町

(昭和31年10月以降)

昭和31年	10月 1日	～	昭和36年	3月31日	山 崎 賢 三
昭和36年	4月 1日	～	昭和42年	3月31日	清 水 亥 之 助
昭和42年	4月 1日	～	昭和47年	3月31日	安 田 鑠 一
昭和47年	4月 1日	～	昭和55年	3月31日	中 川 保
昭和55年	4月 1日	～	昭和57年	3月31日	音 湊 佐 一
昭和57年	4月 1日	～	昭和59年	3月31日	湯 山 保
昭和59年	4月 1日	～	昭和63年	3月31日	鈴 木 敏 一
昭和63年	4月 1日	～	平成 3年	3月31日	秋 田 信 嘉
平成 3年	4月 1日	～	平成 7年	3月31日	勝 俣 昭
平成 7年	4月 1日	～	平成10年	3月31日	米 山 坦
平成10年	4月 1日	～	平成13年	3月31日	杉 山 靖 堅
平成13年	4月 1日	～	平成17年	3月31日	山 田 公 一
平成17年	4月 1日	～	平成21年	3月31日	田 代 通 之
平成21年	4月 1日	～	平成25年	3月31日	横 山 政 行
平成25年	4月 1日	～	平成29年	3月31日	小 野 正 敏
平成29年	4月 1日	～	平成31年	3月31日	山 橋 弘 幸
平成31年	4月 1日	～	現	在	米 山 恒 久

御殿場市・小山町の位置・地勢



令和2年4月1日現在

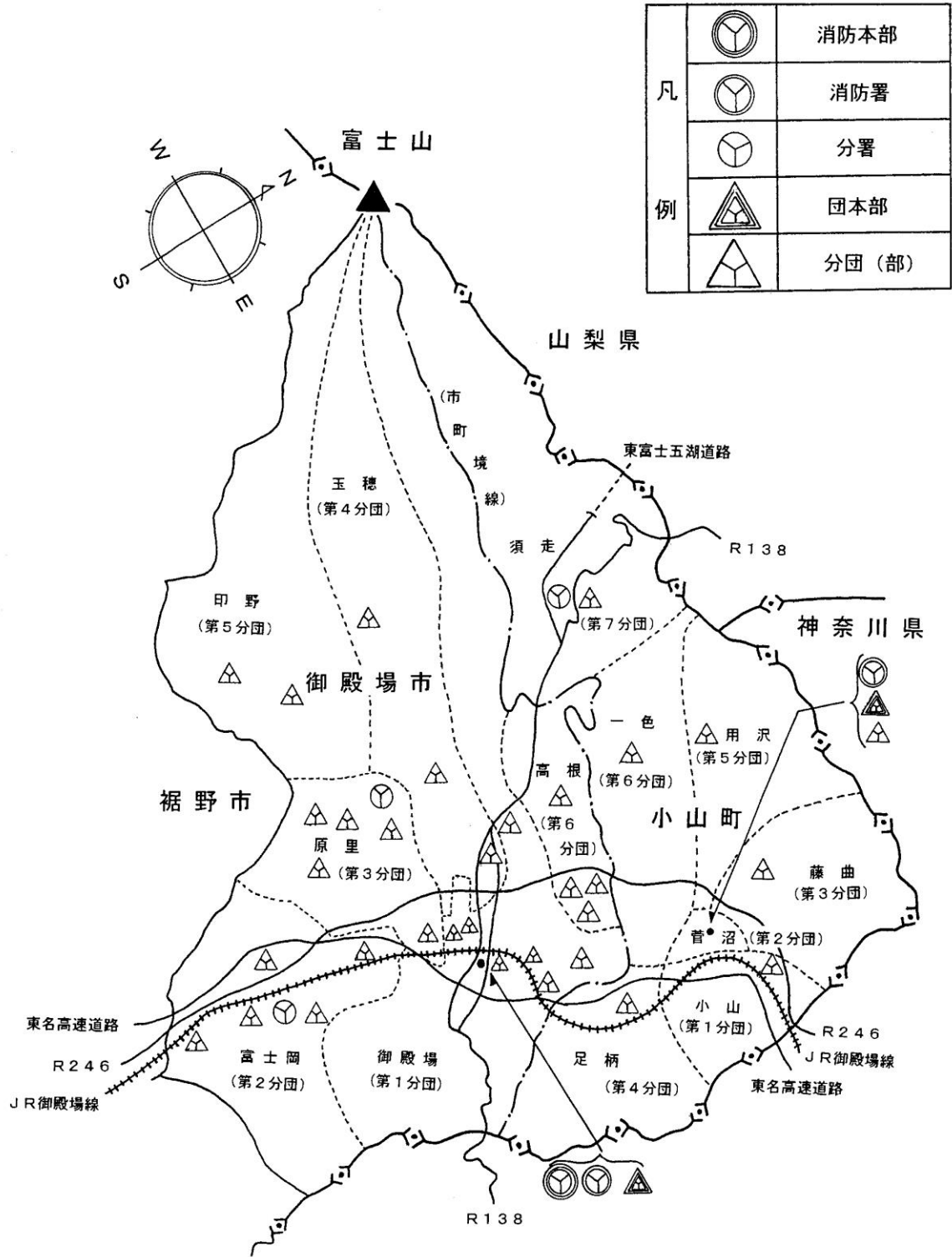
区分	全体	御殿場市	小山町
人口	105,804 人	87,681 人	18,123 人
世帯	45,018 世帯	37,555 世帯	7,463 世帯
面積	330.64 Km ²	194.90 Km ²	135.74 Km ²
東経		御殿場市役所の位置 138° 56' 06"	小山町役場の位置 138° 59'
北緯		" 35° 18' 31"	" 35° 21'
海拔		" 459.8 m	" 267 m
広ぼう		東西24 km ・ 南北16 km	東西26 km ・ 南北13 km

消防庁舎の現況

令和2年4月1日現在

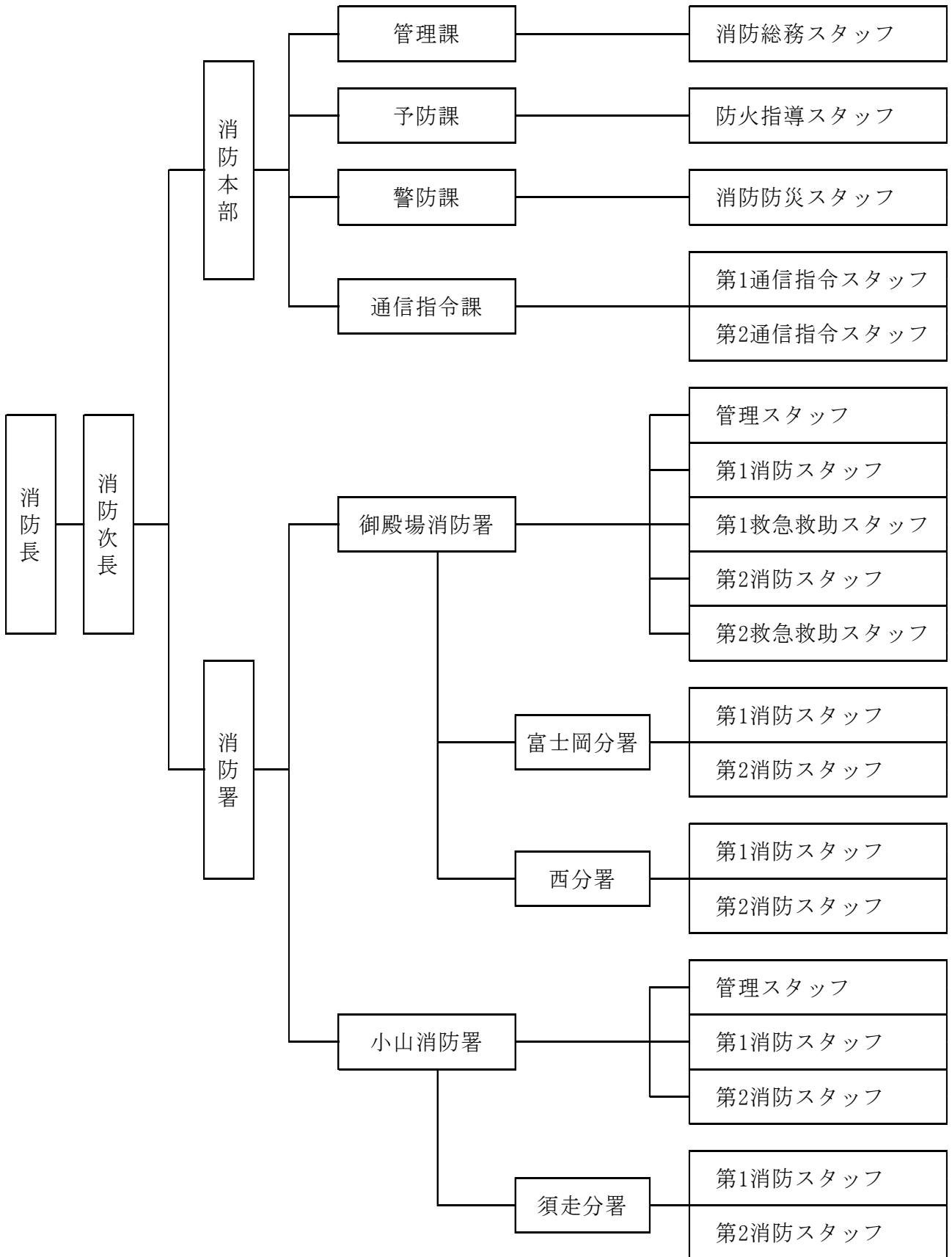
名称 区分	消防本部・御殿場消防署 御殿場市消防団本部	御殿場消防署 富士岡分署	御殿場消防署 西分署	小山消防署 小山町消防団本部	小山消防署 須走分署
所在地	御殿場市東田中一丁目19-1	御殿場市中山473-1	御殿場市永塚916	小山町菅沼359-2	小山町須走293-1
竣工	平成6年3月17日	昭和51年9月25日	平成10年3月14日	昭和47年3月20日	昭和55年10月20日
構造	鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造3階建	鉄骨造平屋建	鉄骨造平屋建	鉄筋コンクリート造 2階建	鉄骨造平屋建
1階	1,661.03m ²	194.02m ²	409.78m ²	382.10m ²	207.70m ²
2階	852.12m ²	-	-	277.20m ²	-
3階	601.71m ²	-	-	-	-
PH	28.05m ²	-	-	-	-
延面積	3,142.91m ²	194.02m ²	409.78m ²	659.30m ²	207.70m ²
建築面積	1,948.22m ²	208.55m ²	409.78m ²	382.10m ²	225.02m ²
訓練塔	鉄筋コンクリート造4階建 延面積 202.8m ²	-	-	鉄骨造3階建 延面積 166.8m ²	-
敷地面積	7002.01m ²	715.25m ²	2,000.21m ²	1,200.00m ²	709.38m ²
工事費	1,576,000千円	23,415千円	148,000千円	56,623千円	27,420千円
増築等	H22.3 高機能消防指令システム 257,040千円 H27.12 消防救急デジタル無線システム 345,600千円	H10.11 耐震補強・増築 16.71m ² 8,249千円		H9.2 増築 259.18m ² 33,236千円 H13.12 耐震補強改修 17,788千円 H18.3 訓練塔建設 30,461千円	H11.12 増築 17.57m ² 7,390千円

管内消防機関配置図



消防本部・消防署組織機構図

令和2年4月1日現在



分 掌 事 務

令和2年4月1日現在

管 理 課

- (1) 組織及び企画に関すること。
- (2) 儀式及び表彰に関すること。
- (3) 条例、規則等の制定改廃に関すること。
- (4) 公印の保管に関すること。
- (5) 文書管理に関すること。
- (6) 公文書公開に関すること。
- (7) 公文書公開・個人情報保護審査会に関すること。
- (8) 職員の人事、給与及び福利厚生に関すること。
- (9) 職員の公務災害補償及び賞じゅつ金に関すること。
- (10) 職員の研修に関すること。
- (11) 職員の保健衛生及び安全管理に関すること。
- (12) 職員の被服等貸与品の支給に関すること。
- (13) 消防職員委員会に関すること。
- (14) 予算に関すること。
- (15) 備品台帳に関すること。
- (16) 庁舎等の維持管理に関すること。
- (17) 他の課等との連絡に関すること。
- (18) 関係機関との連絡調整に関すること。
- (19) 消防統計に関すること。
- (20) 他の課の所管に属さない事項に関すること。

予 防 課

- (1) 火災予防の対策、普及、指導及び査察に関すること。
- (2) 火災の原因及び損害の調査並びに災証明に関すること。
- (3) 消防用設備の検査及び指導に関すること。
- (4) 防火管理者に関すること。
- (5) 建築許可等の同意事務に関すること。
- (6) 危険物の規制に関すること。
- (7) 県証紙の売りさばきに関すること。
- (8) 高圧ガス及び液化石油ガスの規制に関すること。
- (9) 火薬類の規制に関すること。
- (10) 予防統計に関すること。
- (11) 防火協力団体に関すること。
- (12) 広報に関すること。
- (13) 消防クラブの育成及び指導に関すること。
- (14) その他予防業務に関すること。

警 防 課

- (1) 消防計画に関する事。
- (2) 消防の地理及び水利に関する事。
- (3) 水火災及び地震等の警戒防ぎよに関する事。
- (4) 消防、救急及び救助技術の研究並びに訓練指導に関する事。
- (5) 消防機械器具の整備及び取り扱いに関する事。
- (6) 消防相互応援に関する事。
- (7) 救急医療機関との連絡調整に関する事。
- (8) 消防団に関する事。
- (9) 自主防災組織の消防指導に関する事。
- (10) 消防救助隊及び消防音楽隊に関する事。
- (11) 救急及び救助の計画並びに統計に関する事。
- (12) その他警防業務に関する事。

通信指令課

- (1) 消防通信に関する事。
- (2) 通信施設等の整備、保守及び管理に関する事。
- (3) 警報及び情報連絡に関する事。
- (4) 気象観測及び気象情報に関する事。
- (5) その他通信指令業務に関する事。

消 防 署

- (1) 水火災及び地震等の警戒防ぎよに関する事。
- (2) 救急及び救助に関する事。
- (3) 危険区域等の警防計画に関する事。
- (4) 消防機械器具の整備、運用及び保管に関する事。
- (5) 火災予防の指導及び査察の実施に関する事。
- (6) 消防対象物の調査及び立入検査に関する事。
- (7) 消防署関係届出等の処理に関する事。
- (8) 煙火の消費に係る届出の受理及び許可に関する事務並びに立入検査に関する事。
- (9) 火災の原因及び損害の調査に関する事。
- (10) 消防の地理及び水利に関する事。
- (11) 消防の教育及び訓練に関する事。
- (12) 消防救助隊及び消防音楽隊の訓練に関する事。
- (13) 消防団及び自主防災組織との連携共助に関する事。
- (14) 消防統計に関する事。
- (15) 消防署員の服務及び教養に関する事。
- (16) その他消防署に関する事。

消防本部・消防署別職員配置状況

令和2年4月1日現在

		合計	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	その他の職員
職員条例定数		160								
職員合計		155	1	7	24	44	22	23	34	0
消防本部	消防長	1	1							
	次長(兼務)	(1)		(1)						
	管理課	12		1	2	1			8	
	予防課	9		1	2	4	1	1		
	警防課	5		1	1	2	1			
	通信指令課	11		1	2	6	1	1		
	小計	38	1	4	7	13	3	2	8	
消防署	御殿場消防署	48		2	7	13	6	9	11	
	富士岡分署	14			2	4	3	2	3	
	西分署	14			2	4	3	2	3	
	小山消防署	27		1	4	6	4	6	6	
	須走分署	14			2	4	3	2	3	
	小計	117	0	3	17	31	19	21	26	0

※定数外の職員 静岡県消防学校派遣 消防司令補1人 五輪組織委員会派遣 消防司令補1人
 御殿場市派遣 消防司令補1人 広域行政組合事務局出向 消防士長1人
 ※定数内の職員 御殿場市から派遣 消防士長1人
 ()は兼務

職員年齢状況

令和2年4月1日現在

階級 年齢	比率 %	合計	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	その他の職員
平均年齢		41.6	56.0	55.7	51.1	42.4	34.1	29.3	22.6	
合計	100.0	155	1	7	24	44	22	23	34	0
20歳未満	1.9	3							3	
20歳～24歳	16.1	25							25	
25歳～29歳	16.8	26						20	6	
30歳～34歳	8.4	13					11	2		
35歳～39歳	12.9	20				9	11			
40歳～44歳	16.8	26				26				
45歳～49歳	14.2	22			13	9				
50歳～54歳	4.5	7		2	5					
55歳以上	8.4	13	1	5	6			1		

※定数外の職員 静岡県消防学校派遣 消防司令補1人 五輪組織委員会派遣 消防司令補1人
 御殿場市派遣 消防司令補1人 広域行政組合事務局出向 消防士長1人
 ※定数内の職員 御殿場市から派遣 消防士長1人

職員勤続年数状況

令和2年4月1日現在

階級 年数	構成 比	合計	消防 監	消防 司令 長	消防 司令	消防 司令 補	消防 士 長	消防 副 士 長	消防 士	その他の 職員
平均勤続年数			34.0	35.1	31.0	21.5	13.1	8.4	2.4	
合計	100	155	1	7	24	44	22	23	34	0
5年未満	20	31						4	27	
5年以上～10年未満	14.2	22					2	13	7	
10年以上～15年未満	14.8	23				4	14	5		
15年以上～20年未満	11	17				11	6			
20年以上～25年未満	11.6	18			2	16				
25年以上～30年未満	11.6	18			5	13				
30年以上	16.8	26	1	7	17			1		

※定数外の職員 静岡県消防学校派遣 消防司令補1人 五輪組織委員会派遣 消防司令補1人
 御殿場市派遣 消防司令補1人 広域行政組合事務局出向 消防士長1人
 ※定数内の職員 御殿場市から派遣 消防士長1人

職員任用状況

令和2年4月1日現在

年度 区分	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和 元 年度	令和 2 年度
職員定数	155	155	155	155	155	155	160	160	160	160
職員数	151	153	155	151	151	153	152	150	150	155
採用者数	4	4	5	5	6	6	6	8	4	8
退職者数	2	3	10	5	5	7	9	2	3	
再任用者						1	1			1

※定数外の職員 静岡県消防学校派遣 消防司令補1人 五輪組織委員会派遣 消防司令補1人
 御殿場市派遣 消防司令補1人 広域行政組合事務局出向 消防士長1人
 ※定数内の職員 御殿場市から派遣 消防士長1人

派遣等の状況

令和2年4月1日現在

御殿場市へ派遣	1	1	2	1	2	2	1	1	1	1
広域行政組合事務局へ出向							1	1	1	1
五輪組織委員会へ派遣									1	1
静岡県防災ヘリ(航空隊)へ派遣	—	1	1	1	—	—	—	—	—	—
消防学校への教官派遣	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1
御殿場市からの派遣	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

令和2年度常備消防費当初予算

令和2年4月1日現在

歳入

(単位：千円)

款	令和2年度	令和元年度	比較	説明
分担金及び負担金	995,909	1,054,988	△ 59,079	御殿場市
	369,198	275,838	93,360	小山町
使用料及び手数料	4,321	4,321	0	危険物手数料等
国庫支出金		12,043	△ 12,043	
県支出金	39,226	6,673	32,553	県補助金
財産収入			0	
諸収入	7,033	7,349	△ 316	東名救急業務支弁金
	9,140	6,824	2,316	その他
組合債	12,500	47,700	△ 35,200	
合計	1,437,327	1,415,736	21,591	

歳出

(単位：千円)

目	節	令和2年度	令和元年度	比較
常備消防費	報酬	256	256	0
	給料	569,174	563,268	5,906
	職員手当等	440,138	418,780	21,358
	共済費	205,034	198,880	6,154
	災害補償費	1	1	0
	賃金		1089	△ 1,089
	報償費	26	26	0
	旅費	4,529	3,241	1,288
	交際費			0
	需用費	87,724	73,302	14,422
	役務費	17,057	16,859	198
	委託料	27,207	31,585	△ 4,378
	使用料及び賃借料	12,931	11,662	1,269
	工事請負費			0
	原材料費	70	70	0
	備品購入費	58,517	83,703	△ 25,186
	負担金補助及び交付金	13,130	12,577	553
	公課費	1,533	437	1,096
	合計	1,437,327	1,415,736	21,591

相互応援協定等の締結状況

県内協定

協定名	締結日	内容	協定締結先
ガス漏洩爆発事故対策に関する申合せ	昭和55年12月1日	ガス漏洩爆発事故等を対象	御殿場警察署 東京電力御殿場営業センター 御殿場瓦斯株式会社 静岡県プロパンガス協会東部支部 御殿場地区会御殿場小山各ブロック会
消防相互援助協約	(昭和62年2月19日) 全部改定 平成24年4月24日	すべての災害	キャンプ富士消防署
静岡県消防相互応援協定	(昭和62年3月2日) 全部改定 平成29年3月10日	すべての災害	県下各市町長及び消防組合管理者
東名高速道路内の御殿場・裾野・沼津インターチェンジ間における消防相互応援に関する協定	昭和63年3月29日	消防及び救急業務の実施並びに処理を対象	裾野市長 長泉町長 沼津市長
フジ虎ノ門整形外科病院医師派遣用緊急自動車に関わる相互応援協定	平成20年9月1日	医師派遣用緊急自動車の運用を対象	フジ虎ノ門整形外科病院
新東名高速道路内の御殿場ジャンクション・長泉沼津インターチェンジ間における消防相互応援に関する協定	平成24年4月14日	消防及び救急業務の実施並びに処理を対象	御殿場市 長泉町 裾野市
静岡県防災ヘリコプター応援協定	平成29年3月29日	すべての災害	県下各市町長及び消防組合管理者
伊豆マウンテンバイクコース及び伊豆ペロドロームにおける東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会消防・救急体制整備に関する応援協定	令和2年2月28日	すべての災害	県下各市町長及び消防組合管理者
富士スピードウェイにおける東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会消防・救急体制整備に関する応援協定	令和2年2月28日	すべての災害	県下各市町長及び消防組合管理者

県外協定

協定名	締結日	内容	協定締結先
非常出入口の使用に関する協定	昭和45年4月24日	東名高速道路に設置した非常出入口の使用	中日本高速道路㈱ 高速道路東京管理局
消防相互応援協定	平成28年6月1日	すべての災害	箱根町長
東名高速道路都夫良野トンネルにおける無線通信補助設備の便宜供与に伴う協定	昭和59年3月8日	消防業務に関して都夫良野トンネル内の無線通信補助設備の使用を対象	中日本高速道路㈱東京第一管理局長 関東管区警察局神奈川県通信部長 神奈川県足柄消防組合消防長
非常出入口の使用に関する協定	昭和62年3月11日	東名高速道路に設置した非常出入口の使用	中日本高速道路㈱東京第一管理局長
富士五湖広域行政事務組合及び御殿場市・小山町広域行政組合消防相互応援協定	平成28年8月19日	消防業務の実施並びに処理を対象	富士五湖広域行政事務組合消防長
東名高速道路都夫良野トンネル他における無線通信設備等の便宜供与に関する協定	平成7年8月1日	消防業務に関して都夫良野トンネル他無線通信設備等の使用を対象	中日本高速道路㈱東京第一管理局長
消防相互応援協定	平成25年3月31日	すべての災害	小田原市長

その他

協定名	締結日	内容	協定締結先
大規模災害に際しての消防及び自衛隊の相互協力に関する協定	平成8年1月17日	大規模災害	消防庁次長 防衛庁防衛局長
携帯電話等から消防機関への119番通報の接続に関する覚書	平成20年6月17日	緊急通報	株式会社エヌ・ティ・ティ ドコモ東海 ソフトバンク モバイル KDDI株式会社 イーモバイル株式会社
大規模災害等発生時における緊急消防援助隊等の駐車場使用に関する協定	平成26年6月5日	大規模災害時場外駐車場使用	御殿場プレミアムアウトレット

消防団協定

協定名	締結日	内容	協定締結先
御殿場市・小山町間の消防団火災出動相互応援に関する協定	昭和53年11月1日	火災 (境界における火災出動)	御殿場市長 御殿場市消防団長 小山町長 小山町消防団長
御殿場市・裾野市間の消防団火災出動相互応援に関する協定	昭和53年11月1日	火災 (境界における火災出動)	御殿場市長 御殿場市消防団長 裾野市長 裾野市消防団長

防火対象物現況数

令和元年度

用途別		市 町 別	合 計	御 殿 場 市	小 山 町
合 計			4,067	3,322	745
1項	イ	劇場、映画館、演芸場又は観覧場	9	5	4
	ロ	公会堂又は集会場	25	17	8
2項	イ	キャバレー、カフェー、ナイトクラブ等	0		
	ロ	遊技場又はダンスホール	18	17	1
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等	0		
	ニ	カラオケボックス等	3	2	1
3項	イ	待合、料理店その他これらに類するもの	1	1	
	ロ	飲食店	160	144	16
4項		百貨店、マーケットその他の物品販売業を営む店舗等	295	270	25
5項	イ	旅館、ホテル又は宿泊所	204	154	50
	ロ	寄宿舎、下宿又は共同住宅	990	898	92
6項	イ	病院、診療所又は助産所	79	70	9
	ロ	老人短期入所施設等	55	48	7
	ハ	老人デイサービスセンター等	62	53	9
	ニ	幼稚園・特別支援学校	14	11	3
7項		小中高等学校、高等専門学校、大学・専修学校等	135	102	33
8項		図書館、博物館、美術館その他これらに類するもの	5	4	1
9項	イ	公衆浴場のうち蒸気浴場・熱気浴場等	1	1	
	ロ	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場	8	6	2
10項		車両の停車場又は船舶もしくは航空機の発着場	4	2	2
11項		神社、寺院、教会その他これらに類するもの	43	30	13
12項	イ	工場又は作業場	648	498	150
	ロ	映画スタジオ又はテレビスタジオ	0		
13項	イ	自動車車庫又は駐車場	47	30	17
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫	2	2	
14項		倉庫	262	188	74
15項		前各項に該当しない事業場	670	481	189
16項	イ	特定用途別部分が存する複合用途防火対象物	256	229	27
	ロ	イに掲げる複合用途防火対象物以外のもの	68	57	11
16項の2		地下街	0		
16項の3		建築物の地階で連続して地下道に面したもの等	0		
17項		文化財保護法による重要文化財等	3	2	1
18項		延長50メートル以上のアーケード	0		
19項		市町村長の指定する山林	0		
20項		自治省令で定める舟車	0		

用途構造別建築同意件数

令和元年度

用途別	市 町 別		御 殿 場 市					小 山 町						
	構造別（棟別）		木 造	鉄 骨	鉄 筋 リ コ ン ト	そ の 他	同意件数計		木 造	鉄 骨	鉄 筋 リ コ ン ト	そ の 他	同意件数計	
							R1 年 度	30 年 度					R1 年 度	30 年 度
合 計			46	93	20	0	159	162	32	33	3	0	68	29
1項	イ	劇場、映画館、演芸場又は観覧場					0	0					0	0
	ロ	公会堂又は集会場					0	0					0	0
2項	イ	キャバレー、カフェー、ナイトクラブ等					0	0					0	0
	ロ	遊技場又はダンスホール					0	0					0	0
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗					0	0					0	0
	ニ	カラオケボックス等			1		1	0					0	0
3項	イ	待合、料理店その他これらに類するもの					0	0					0	0
	ロ	飲食店	2	3			5	3					0	0
4項		百貨店、マーケットその他の物品販売業を営む店舗等	2	8			10	13	1	1			2	0
5項	イ	旅館、ホテル又は宿泊所		2	1		3	6					0	3
	ロ	寄宿舎、下宿又は共同住宅	2	8	8		18	12			3		3	0
6項	イ	病院、診療所又は助産所	3		1		4	1					0	0
	ロ	老人短期入所施設等	1				1	3					0	0
	ハ	老人デイサービスセンター等	2		1		3	5	2				2	0
	ニ	幼稚園・特別支援学校					0	0					0	0
7項		小中高等学校、高等専門学校、大学・専修学校等		4	3		7	4					0	0
8項		図書館、博物館、美術館その他これらに類するもの					0	0					0	0
9項	イ	公衆浴場のうち蒸気浴場・熱気浴場等	1				1	0					0	0
	ロ	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場					0	0					0	0
10項		車両の停車場又は船舶もしくは航空機の発着場		2			2	0					0	0
11項		神社、寺院、教会その他これらに類するもの	1				1	0	1				1	0
12項	イ	工場又は作業場	1	3			4	10		11			11	1
	ロ	映画スタジオ又はテレビスタジオ					0	0					0	0
13項	イ	自動車車庫又は駐車場		3			3	4		3			3	2
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫					0	0					0	0
14項		倉庫	2	4	2		8	12		6			6	3
15項		前各項に該当しない事業場	11	31	2		44	34	7	4			11	12
16項	イ	特定用途別部分が存する複合用途防火対象物	1	1			2	6					0	0
	ロ	イに掲げる複合用途防火対象物以外のもの					0	0	1				1	0
小 計			29	69	19	0	117	113	12	25	3	0	40	21
専 用 住 宅			7	4	1		12	33	10				10	8
そ の 他			10	20			30	16	10	8			18	0
小 計			17	24	1	0	42	49	20	8	0	0	28	8
計 画 通 知			1				1	1					0	0
小 計			1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0

16項の2・18項～20は該当なし

立入検査実施状況

令和元年

用途別	実施状況用途別	対象数	実施数	実施率%
	合計	62	61	98
	遊技場・ダンスホール（2項ロ）	14	14	100
	カラオケボックス等（2項ニ）	1	1	100
	料理店等（3項イ）	1	1	100
	飲食店（3項ロ）	41	40	98
	車両の停車場等（10項）	4	4	100
	複合用途防火対象物（16項イ）	1	1	100

住宅用火災警報器を設置しましょう。

全ての住宅に、平成21年6月1日（御殿場市・小山町広域行政組合火災予防条例）から住宅用火災警報器の設置が義務付けられました。



管内 5階以上の建築物一覧

御殿場市（御殿場市内：115棟）

5階（70棟）

令和元年

名 称	用途	名 称	用途
御殿場市市民会館	公会堂	御殿場レックスハイツ	共同住宅
御殿場美華ガーデン	飲食店	コーポラス新橋	〃
御殿場高原ホテル（時之栖）	ホテル	東山ガーデンハウス	〃
ホテルセレクトイン富士山御殿場	〃	アイクレスト御殿場1	〃
ゆうらいふ御殿場	〃	アイクレスト御殿場2	〃
ホテル ルミエール御殿場	〃	ロイヤルシャトー御殿場南	〃
御殿場高原ホテル（時の栖別館）	〃	ベルメゾンごてんば	〃
ホテル昴	〃	クインテッセンス御殿場	〃
滝ヶ原宿舎（A）	宿舎	コーポラス板妻	〃
滝ヶ原宿舎（B）	〃	ラブレジール御殿場二の岡	〃
萩原宿舎 1号棟	〃	コンフォート向原	〃
萩原宿舎 2号棟	〃	陸上自衛隊板妻駐屯地隊舎（6号隊舎）	〃
滝宿舎 1号棟	〃	陸上自衛隊板妻駐屯地隊舎（10号隊舎）	〃
滝宿舎 2号棟	〃	陸上自衛隊板妻駐屯地隊舎（34号隊舎）	〃
滝宿舎 3号棟	〃	M-BS御殿場壺番館	〃
ビレッジハウス御殿場	〃	滝ヶ原ぐみ沢宿舎	〃
杉原宿舎 1号棟	〃	富士病院	病院
杉原宿舎 2号棟	〃	県立御殿場高等学校	学校
エトワール御殿場	共同住宅	御殿場プレミアムアウトレット第4駐車場	駐車場
サンコーポ第2新橋	〃	キリンディステリャー御殿場工場	工場
グリーントアングみ沢	〃	小林工芸	〃
コーポラス野中	〃	岡山国際サーキット	倉庫
コーポカソマタ	〃	滝ヶ原駐屯地（格納庫）	〃
箱根東山館	〃	タウン社	事務所
ソシオ御殿場	〃	御殿場市役所	〃
日立ハイテクサイエンス	〃	滝ヶ原駐屯地543隊舎	〃
ヴィラ御殿場	〃	マースエンジニアリングテクノ物流センター	〃
ファミリーヴィラ御殿場	〃	芝浦機械(株)御殿場工場	〃
メゾン・グッチ	〃	滝口ビル	複合用途
レスパニャよしの A棟	〃	さんどーるビル	〃
レスパニャよしの B棟	〃	シティープラザB-1ビル	〃
シャンドン御殿場	〃	メゾン東富士	〃
アピターレ	〃	興産ビル	〃
グランピュア・カミヤ	〃	みやざきやビル	〃
レンブラントスタイル御殿場駒門	ホテル	レジデンス杉山	〃

6階（18棟）

名 称	用途	名 称	用途
TOTO(株)東富士研修所	ホテル	ウイステリア御殿場参番館	共同住宅
レンブラントプレミアム富士御殿場	〃	アーバンシティー御殿場	〃
ウイステリア御殿場	共同住宅	トゥール御殿場	〃
モナーク御殿場	〃	ヴィラS&T	〃
フォーシーズン大坂	〃	バルクレール御殿場	〃
サンコーポ第3新橋	〃	ウイステリアコート川島田	〃
富士ランドフジビューマンション	〃	大和田ビル	複合用途
御殿場ヒルズ	〃	御殿場ミュージアムタワー	〃
リシャール御殿場	〃	いやし処ほてる寛楽富士山御殿場	ホテル

御殿場市

7階 (11棟)

名 称	用途	名 称	用途
ウイステリア御殿場式番館	共同住宅	オサコー建設 社屋	〃
シャレーフジハイランド	〃	くれたけイン御殿場インターホテル	ホテル
ウイステリア御殿場アクセス	〃	ホテルルートイン御殿場	〃
Breeze GOTENBA	〃	スーパーホテル御殿場1号館	〃
トヨタ自動車東富士研究所 (C11棟)	事務所	湯山ビル	複合用途
トヨタ自動車東富士研究所 (C12棟)	〃		

8階 (4棟)

名 称	用途	名 称	用途
ルートイン御殿場別館	ホテル	中外製薬㈱御殿場社員寮	共同住宅
スーパーホテル御殿場Ⅱ号館	〃	HOTEL CLAD 木の葉の湯	ホテル

9階 (7棟)

名 称	用途	名 称	用途
御殿場高原ホテルB, U	ホテル	エンブル・ガーデン御殿場	共同住宅
ホテルα1御殿場インター	〃	Y-TOWN御殿場 社宅棟	〃
ルートイン御殿場駅南	〃	Y-TOWN御殿場 寮・厚生棟	〃
シティープラザC-1ビル	複合用途		

10階 (1棟)

名 称	用途
リベルテ御殿場	共同住宅

11階 (1棟)

名 称	用途
オプリージュ御殿場レジデンス	共同住宅

12階 (2棟)

名 称	用途	名 称	用途
ウイステリア御殿場東	共同住宅	マースガーデンウッド御殿場	ホテル

14階 (1棟)

名 称	用途
タワーコート御殿場	共同住宅

小山町 (小山町内：28棟)

5階 (19棟)

名 称	用途	名 称	用途
ゼネラル石油㈱富士高原研修所	研修所	富士(10)下原宿舎(1号棟)	共同住宅
須走宿舎14号棟	共同住宅	富士(10)下原宿舎(2号棟)	〃
県営住宅小山第1団地	〃	富士(10)下原宿舎(3号棟)	〃
柳沢宿舎 A棟	〃	高原コンドC棟	〃
柳沢宿舎 B棟	〃	高原コンドB棟	〃
須走宿舎12号棟	〃	陸上自衛隊富士学校隊舎13号棟隊舎	隊舎
須走宿舎13号棟	〃	陸上自衛隊富士学校隊舎(6)	〃
サンハイツ須走	〃	陸上自衛隊富士学校隊舎(7)	〃
須走宿舎K号棟	〃	富士学校 隊舎(321)	複合用途
富士特別借受宿舎	〃		

6階 (3棟)

名 称	用途	名 称	用途
アイリスオーヤマ富士小山工場	工場	陸上自衛隊富士学校313号隊舎	隊舎
東海カーボン富士研究所	研究所		

7階 (1棟)

名 称	用途
ホテルジャストワン富士小山	ホテル

8階 (2棟)

名 称	用途	名 称	用途
ダイヤモンドリゾート御殿場式番館	共同住宅	㈱東海 (3工場)	工場

9階 (2棟)

名 称	用途	名 称	用途
富士之堡華園ホテル	ホテル	富士ざくらホテル	ホテル

10階 (1棟)

名 称	用途
ダイヤモンドリゾート御殿場式番館	共同住宅

消防用設備等設置状況

令和元年度

設備名 項	市										町								
	屋内消火栓設備	スプリンクラー	水噴霧消火設備	屋外消火栓設備	動力消火ポンプ	自動火災報知設備	非常警報器具・設備	避難器具	誘導灯・誘導標織	屋内消火栓設備	スプリンクラー	水噴霧消火設備	屋外消火栓設備	動力消火ポンプ	自動火災報知設備	非常警報器具・設備	避難器具	誘導灯・誘導標織	
合計	343	78	93	132	15	1,371	543	340	1,275	99	17	44	49	5	373	114	56	290	
1項	イ	1	1				2	2	1	2	1		1		3	3	1	3	
	ロ	6	1				11	13	1	15					6	4		6	
2項	イ																		
	ロ	4	1	2			17	11	3	20					1	1		1	
	ハ																		
3項	イ						1		1										
	ロ	5			4		63	54	15	130	3	1	1		12	5		15	
4項		14	7	10	29	1	131	99	8	225					5	8		19	
5項	イ	30	5	4	8	2	140	31	35	87	15	3	4	3	53	19	15	43	
	ロ	22	2	10	5		153	69	145	39	11		1		30	11	25	16	
6項	イ	9	6		1		40	25	9	56	3				6	4	2	7	
	ロ		27				46	17	7	44		7			7	2	2	7	
	ハ	1	10				31	12	8	36	1	2			4	1	2	8	
	ニ	4					11	6	1	13	1				4			3	
7項		61		1			86	43	17	32	13				26	9	1	6	
8項		3					5	2		4									
9項	イ																		
	ロ	1					3	2		3	1				2			2	
10項																			
11項		1					3	15		6	1				2	4		6	
12項	イ	84	6	33	53	8	250	4	4	157	22	3	21	30	3	96	5	3	56
	ロ																		
13項	イ	1		19			19	2		6			5		5			3	
	ロ	1					2												
14項		34	6	3	24	4	110	2	3	66	7	1	6	11	2	38		3	15
15項		44		7	6		136	93	18	155	14		6	3		53	31	1	52
16項	イ	13	5	4			91	36	55	158	3		1		15	7	1	16	
	ロ	4	1		1		15	5	9	17	3				4			5	
17項					1		2												

※16項の2・18項～20項は該当なし

火災予防条例による届出件数

令和元年度

届出の種類	届出件数	御殿場市	小山町
合計	1,692	1,201	491
禁止行為の解除承認申請	30	26	4
防火対象物使用開始（変更）届出	68	55	13
炉・厨房設備・温風暖房機・ボイラー等設置届出	40	31	9
発電設備・変電設備・蓄電池設備設置届出	0	0	0
ネオン管灯設備設置届出	0	0	0
水素ガスを充てんする気球の設置届出	0	0	0
火災とまぎらわしい煙又は火炎を発生おそれのある行為の届出	494	284	210
煙火打上げ・仕掛け届出	228	195	33
催物開催届出	42	0	42
水道断水・減水届出	0	0	0
道路工事届出	530	421	109
指定洞道等届出（新規・変更）	0	0	0
圧縮アセチレンガス等貯蔵取扱届	39	26	13
少量危険物貯蔵・指定可燃物貯蔵取扱い・廃止届出	31	15	16
露店	190	148	42

枯草処置指導件数

令和元年度

調査	調査延日数	調査延人員	調査件数	調査延面積
	5日	23人	15件	145.24 a
処置	確認延日数	確認延人員	処置済件数	処置済面積
	5日	23人	2件	36 a

月別煙火許可件数

令和元年度

月別	許可合計	3号～10号の数量	スターマイン(台)	仕掛(台)	その他	手数料(円)
合計	35	3,649	267	4	130	276,500
4月	1	95	13			7,900
5月	1	167	1			7,900
6月	3	242	46			23,700
7月	6	519	65			47,400
8月	4	111	19			31,600
9月	8	1,331	56			63,200
10月	1	42	1			7,900
11月	3	285	16			23,700
12月	3	155	6			23,700
1月	0					0
2月	1	45				7,900
3月	4	657	44	4	130	31,600

類別危険物施設数

令和元年度

市 町 別	施設別 類別	合 計	製 造 所	貯 蔵 所								取 扱 所			
				屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タン ク 貯 蔵 所	屋 内 タン ク 貯 蔵 所	地 下 タン ク 貯 蔵 所	簡 易 タン ク 貯 蔵 所	移 動 タン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	小 計	給 油 取 扱 所	販 売 取 扱 所	一 般 取 扱 所	小 計
合 計		699	12	116	158	8	131	2	35	25	475	99	2	111	212
御 殿 場 市	第 4 類	494	6	81	119	6	91	1	28	5	331	70	2	85	157
	そ の 他	4		3							3			1	1
	小 計	498	6	84	119	6	91	1	28	5	334	70	2	86	158
小 山 町	第 4 類	192	4	29	39	2	40	1	3	20	134	29		25	54
	そ の 他	9	2	3					4		7				0
	小 計	201	6	32	39	2	40	1	7	20	141	29	0	25	54

数量別危険物施設数

令和元年度

市 町 別	施設別 数量別	合 計	製 造 所	貯 蔵 所								取 扱 所			
				屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タン ク 貯 蔵 所	屋 内 タン ク 貯 蔵 所	地 下 タン ク 貯 蔵 所	簡 易 タン ク 貯 蔵 所	移 動 タン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	小 計	給 油 取 扱 所	販 売 取 扱 所	一 般 取 扱 所	小 計
合 計		699	12	116	158	8	131	2	35	25	475	99	2	111	212
御 殿 場 市	5倍以下	176		28	21	4	45	1	23	2	124	10	2	40	52
	5倍を超え10倍以下	95	1	22	24	1	20		1	2	70	4		20	24
	10倍を超え50倍以下	140	2	22	55	1	13		4	1	96	23		19	42
	50倍を超え100倍以下	26	1	3	12		3				18	5		2	7
	100倍を超え150倍以下	17		4			4				8	6		3	9
	150倍を超え200倍以下	14	1	2	4		2				8	5			5
	200倍を超え1000倍以下	27	1	2	3		4				9	17			17
	1000倍を超え5000倍以下	3		1							1				2
小 計		498	6	84	119	6	91	1	28	5	334	70	2	86	158
小 山 町	5倍以下	59	1	9	5		21	1	3	1	40	10		8	18
	5倍を超え10倍以下	48	1	9	5	2	15			5	36	2		9	11
	10倍を超え50倍以下	58	2	8	21		4		2	11	46	5		5	10
	50倍を超え100倍以下	19	2	1	8				2	2	13	3		1	4
	100倍を超え150倍以下	6									0	5		1	6
	150倍を超え200倍以下	5		1						1	2	2		1	3
	200倍を超え1000倍以下	6		4							4	2			2
	1000倍を超え5000倍以下	0									0				0
小 計		201	6	32	39	2	40	1	7	20	141	29	0	25	54

業態別危険物施設の状況

令和元年度

市 町 別	施設別 業態別	合 計	製 造 所	貯 蔵 所								取 扱 所				
				屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タン ク 貯 蔵 所	屋 内 タン ク 貯 蔵 所	地 下 タン ク 貯 蔵 所	簡 易 タン ク 貯 蔵 所	移 動 タン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	小 計	給 油 取 扱 所	販 売 取 扱 所	一 般 取 扱 所	小 計	
合 計		699	12	116	158	8	131	2	35	25	475	99	2	111	212	
御 殿 場 市	石 油 類 等 販 売	56			2					20		22	28		6	34
	一 般 会 社	273	6	73	79	4	36				5	197	12		58	70
	自 衛 隊	57		6	21		4			7		38	7		12	19
	宿 泊 所	20			2		15					17			3	3
	商 店 (販 売)	2										0			2	2
	官 公 署	31		1	14		10					25	2		4	6
	病 院 等	4		1	1	1	1					4				0
	運 輸 会 社	11		1			1					2	9			9
	塗 料 販 売	4		2								2		2		2
	そ の 他	40				1	24	1	1			27	12		1	13
小 計	498	6	84	119	6	91	1	28	5	334	70	2	86	158		
小 山 町	石 油 類 等 販 売	15								3		3	9		3	12
	一 般 会 社	112	6	24	29	2	18				20	93			13	13
	自 衛 隊	20		6	8		1					15	2		3	5
	宿 泊 所	4					3					3			1	1
	商 店 (販 売)	3										0			3	3
	官 公 署	6					5					5			1	1
	病 院 等	2					2					2				0
	運 輸 会 社	9		2						4		6	3			3
	塗 料 販 売	0										0				0
	そ の 他	30			2		11	1				14	15		1	16
小 計	201	6	32	39	2	40	1	7	20	141	29	0	25	54		

危険物関係届出状況

令和元年度

市 町 別	施設別 区分	合 計	製 造 所	貯 蔵 所								取 扱 所			
				屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タン ク 貯 蔵 所	屋 内 タン ク 貯 蔵 所	地 下 タン ク 貯 蔵 所	簡 易 タン ク 貯 蔵 所	移 動 タン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	小 計	給 油 取 扱 所	販 売 取 扱 所	一 般 取 扱 所	小 計
合 計		178	4	24	72	1	27	0	1	6	131	12	1	30	43
御 殿 場 市	危険物保安監督者選解任届	108	1	13	47	1	16			3	80	7		20	27
	危険物種類数量変更届	12		7							7	1		4	5
	危険物施設譲渡引渡届	3					2				2	1			1
	危険物施設用途廃止届	4					2		1		3	1			1
	小 計	127	1	20	47	1	20	0	1	3	92	10	0	24	34
小 山 町	危険物保安監督者選解任届	47	3	4	22		7			3	36	2		6	8
	危険物種類数量変更届	2			2						2				0
	危険物施設譲渡引渡届	0									0				0
	危険物施設用途廃止届	2			1						1		1		1
	小 計	51	3	4	25	0	7	0	0	3	39	2	1	6	9

令和2年度 危険物安全推進標語

『 訓練で 確かな信頼 積み重ね 』

危険物施設許可・完成検査件数

令和元年度

施設別 処理状況	年 度	合 計	製 造 所	貯 蔵 所								取 扱 所				
				屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	小 計	給 油 取 扱 所	販 売 取 扱 所	一 般 取 扱 所	小 計	
許 可	設置	R1	9	1	2	2		1			1	6	1		1	2
		30	11		5	2			1			8	2		1	3
		29	8		2	4				1		7			1	1
	変更	R1	55	11				2		3		5	9		30	39
		30	79	16		5		2				7	7		49	56
		29	71	12	2	4		4		2		12	8		39	47
完成検査	設置	R1	6		2			1				3	2		1	3
		30	9		4	2			1			7	1		1	2
		29	7		3	3				1		7				0
	変更	R1	52	10				2		3		5	7		30	37
		30	77	15		5	1	2				8	7		47	54
		29	68	11	2	4		4		2		12	8		37	45

過去 10 年間の許可・完成検査・廃止届出件数の推移

年 区分	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度
設置許可	16	10	14	19	7	12	6	8	11	9
変更許可	52	73	88	100	85	73	105	71	79	55
完成検査	66	72	96	123	93	72	121	75	86	58
廃止届	35	25	35	24	18	13	18	24	18	6

※14年刊行版から年度表示

申請手数料収入状況

令和元年度

(単位：円)

合計	設置	変更	完成	水張	水圧	仮使用	仮貯仮取扱	再交付
2,838,450	287,000	1,367,000	768,250	6,000	0	291,600	91,800	26,800

広報活動の概要

令和元年度

区 分	内 容	時 期	備 考
報 道 対 応	新聞社等に情報の提供	随 時	市内の報道機関5社
広 報 紙	御殿場市、小山町の広報紙に火災予防や救急等の記事を掲載し防災意識の高揚を図る	随 時	広報ごてんば 広報おやま
施 設 見 学	行政視察	年 間	
	各種団体施設見学	年 間	
	保育園・幼稚園消防署見学	5月～11月	
	小学4年生社会科見学	5・6・11月	
防 災 展 示 ホール	団体系験者	年 間	
	個人体験者	年 間	
火 災 予 防 啓 発 推 進 事 業	危険物安全週間街頭広報	6月5日	参加29人
	「救急の日」広報	9月3日～9日	救急医療週間
	火災予防運動	11月・3月	春季・秋季火災予防週間
	幼児防火・交通安全のつどい	11月8日	御殿場
	幼児防火・交通安全パレード	10月21日	小山（中止）
	防火ポスター		BFC 御殿場南中・沼田 IFC保育園4園
防 災 訓 練	静岡県総合防災訓練	9月1日	
	地域防災訓練	11月24日 12月3日	モデル地区 市内一斉
無 線 通 報	消防だより	随 時	
	火災予防一口広報	火災予防週間	小山町
	防災の日（毎月第3日曜日）		小山町
	火災予防広報	随 時	

令和2年度全国統一防火標語

『その火事を 防ぐあなたに 金メダル』

ひとり暮らし高齢者宅防火指導実施状況

令和元年度

市 町 別	実 施 時 期	対 象 世 帯 数	実 施 数
御 殿 場 市	春・秋季火災予防運動中等	573	105
小 山 町	春・秋季火災予防運動中等	158	41
合 計		731	146

防火指導・講習・訓練実施状況

令和元年度

項 目 対 象 団 体	実 施 回 数	実 施 内 容 (回)					受 講 人 数	指 職 員 導 数
		救 急	講 話	花 火	消 訓 防 練	そ の 他		
合 計	130	38	3	28	35	26	8,451	626
自 主 防 災 会	1	1					14	3
事 業 所	45	17			26	2	3,033	236
消 防 ク ラ ブ	33	1		11		21	1,328	154
消 防 団	3	1			1	1	39	11
小 学 校 ・ 中 学 校 ・ 高 等 学 校	11	5	3		1	2	1,003	66
幼 稚 園 ・ 保 育 園	20	1		17	2		2,093	98
そ の 他 の 団 体	17	12			5		941	58

救命講習会実施状況

令和元年度

項 目 内 容	回 数	受 講 者 数
普 通 救 命 講 習 会 I	13	208
普 通 救 命 講 習 会 II	5	75
普 通 救 命 講 習 会 III	5	50
上 級 救 命 講 習 会	2	29
合 計	25	362

甲種防火管理者資格取得講習会受講者数

(単位：人)

年 度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
受 講 者 数	148	172	170	162	161

甲種防火管理者再講習会受講者数

(単位：人)

年 度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
受 講 者 数	16	23	16	23	16

御殿場市小山町防火安全協会

- 1 目的 事業所における防火管理及び危険物等の保安管理の向上を図り、
火災等の災害を防止し、自主的な活動を推進するとともに、消防機関と
密接な連絡を保ち、会員相互の親睦を図ることにより、事業の健全なる振興
発展と社会公共の福祉の増進に寄与することを目的とする。
- 2 名称 御殿場市小山町防火安全協会
- 3 事務局 御殿場市東田中一丁目19番1号
御殿場市・小山町広域行政組合消防本部予防課内
電話 0550-83-0119
- 4 設立 平成16年5月28日
- 5 組織 (1) 会長 1名
(2) 顧問 2名
(3) 相談役 1名
(4) 副会長 3名
(5) 監事 2名
(6) 会計 2名
(7) 理事 24名
- 6 会員数 令和2年3月31日現在 318会員
一般防火対象物の会員 危険物を貯蔵、取扱う施設の会員
(1) 事務所その他の施設 34 (1) 給油取扱所 34
(2) 物販店 10 (2) LPガス販売所 18
(3) 旅館・ホテル 34 (3) 灯油販売所 3
(4) ゴルフ場・リクレーション施設 7 (4) 工場・事業所 104
(5) 工場 19 (5) 塗料販売所 2
(6) 飲食店 22 (6) 賛助事業所 4
(7) 研修所・研究所 11
(8) パチンコ店 2
(9) 病院・医院 14
- 7 年間予算 4,300,000 円
- 8 事業 (1) 防火管理並びに危険物等の取扱いと管理に関する研究、調査
(2) 講習会、懇談会の開催
(3) 消防関係法令の周知徹底
(4) 防火・安全の普及、宣伝
(5) 特に功労のあった事業所、団体及び会員等の表彰
(6) 所管官庁との連絡、協力
(7) 会員相互の融和及び情報交換
(8) その他、この会の目的を達成するため必要な事業

御殿場小山幼少年女性防火委員会

御殿場市及び小山町の幼年消防クラブ、少年消防クラブ、婦人防火クラブ育成強化を通して地域の自主防災組織の育成と防火防災意識の高揚をはかるために昭和56年5月1日に「御殿場小山少年婦人防火委員会」が発足し、平成23年5月に「御殿場小山幼少年女性防火委員会」と改名しました。

- (1) 会 長 1名
- (2) 委 員 11名
- (3) 事務局 御殿場市東田中一丁目19番1号
御殿場市・小山町広域行政組合消防本部予防課内
電話 0550-83-0119

1 幼年消防クラブ：22

保育園の年長児を中心として、年間活動を通して火災予防についての理解を深めている。

主な内容は、任命式、救助隊見学、花火教室、幼児防火・交通安全パレード、修了式等を実施している。

クラブ状況

御殿場市：17

クラブ名	結 成	クラブ名	結 成
玉穂第1保育園	昭和57年5月	原里第2保育園	昭和62年5月
富岳保育園	昭和57年5月	双葉保育園	昭和62年5月
西 保 育 園	昭和59年5月	高根学園保育所	昭和63年5月
高根第1保育園	昭和60年5月	萩原保育園	昭和63年5月
すみれ保育園	昭和60年5月	高根第2保育園	昭和63年5月
東 保 育 園	昭和61年5月	玉穂第2保育園	昭和63年5月
原里第1保育園	昭和61年5月	とらのご保育園	平成23年4月
神山認定こども園	昭和61年5月	みらい保育園	平成26年4月
印野こども園	昭和62年5月		

小山町：5

クラブ名	結 成
すがぬま保育園	昭和58年5月
すばしり保育園	昭和58年5月
きたごうこども園	昭和59年5月
いきど保育園	昭和60年5月
菜の花こども園	平成29年4月

2 少年消防クラブ：2

地域のクラブは、地域での各種活動をとおして、各家庭へ防火を呼びかけている。

中学校のクラブは、学校の授業として活動し、防火ポスター作成や実習等の活動を通して消防の正しい理解と防火防災意識高揚を図っている。

クラブ状況

ク ラ ブ 名	結 成	主 な 活 動
沼田少年消防クラブ	大正3年8月	地域家庭に防火の呼びかけ 防火ポスター作成・防火防災体験学習等
御殿場市立南中学校少年消防クラブ	昭和56年4月	防火ポスター作成・防火防災体験学習等

3 女性防火クラブ：1

研修や視察等の活動を通して、家庭内の防火推進や地域の防火防災活動で活躍している。

クラブ員は北郷地区火防隊婦人部（昭和38年1月結成）のOG会で組織されています。

ク ラ ブ 名	結 成	主 な 活 動
御殿場小山女性防火クラブ	平成23年4月	県女性防火クラブ連絡協議会研修会 消防学校体験入校等

消防本部・消防署配置車両

令和2年4月1日現在

	車両種別	登録番号	車名	登録年月	経過年数	排気量等 ポンプ種別等	機装会社 (型別)	車種	
消防本部	指令車	富士山803さ2175	トヨタ	28.11	3	1.790		アリオン	
	広報車	富士山803さ2706	三菱	31.1	1	3.020		パジェロ	
	広報車	富士山503さ172	ニッサン	20.11	11	1.990		セレナ	
	査察車	富士山403さ4576	ニッサン	24.7	7	1.590		ADバン	
	その他の車両	富士山581あ3234	ダイハツ	17.12	14	0.650		アトレー	
消防署	御殿消防署	消防ポンプ自動車	富士山803さ1781	日野	27.2	5	4.000ディーゼル4WD A-2級 2段ハランスターベン	島山ポンプ	CD-1
		水槽付消防ポンプ自動車	富士山803は356	日野	R2.1	5	5.120ディーゼル A-2 2段ハランスターベン1,5000	島山ポンプ	I-B
		化学消防ポンプ自動車	富士山803は105	日野	23.2	9	6.400ディーゼル泡消火薬液槽5000 A-2 2段ハランスターベン1,3000	島山ポンプ	II型
		救助工作車	富士山840さ 119	日野	17.2	15	6.400ディーゼル	テイセン	II型
		はしご付消防ポンプ自動車	富士山803は18	日野	6.11	25	17.230ディーゼル 35m級・規格地上高36.07m	森田ポンプ	専用 シャシー
		小型動力ポンプ付水槽車	富士山803は19	日野	13.3	19	20.780	島山ポンプ	II型
		救急自動車	富士山803さ1050	トヨタ	24.1	8	2.690	テクノクラフト	高規格
		救急自動車	富士山803さ702	トヨタ	22.11	9	2.690	テクノクラフト	高規格
		指揮車	富士山803さ2465	トヨタ	30.2	2	2.690		ハイエース
		その他の車両	富士山803さ2948	いすゞ	R2.2	2	2.990ディーゼル4WD		エルフ
	後方支援車	富士山803さ1344	三菱	25.2	7	2.990ディーゼル4WD	㈱パブコ		
	富士岡分署	水槽付消防ポンプ自動車	富士山803は22	日野	19.2	13	6.40ディーゼル 4WD A-2 2段ハランスターベン1,5000	島山ポンプ	I-A型
		救急自動車	富士山803さ1557	トヨタ	26.2	6	2.690	テクノクラフト	高規格
		その他の車両	富士山481う2261	ダイハツ	26.2	6	0.650 4WD		ハイゼット
西分署	水槽付消防ポンプ自動車	富士山803は272	日野	29.2	3	6.40ディーゼル 4WD A-2 2段ハランスターベン1,5000	島山ポンプ	I-B型	
	救急自動車	富士山803さ2715	トヨタ	31.1	1	2.690	テクノクラフト	高規格	
	資機材搬送車	富士山481え1735	ダイハツ	28.8	3	0.650		ハイゼット	
小山消防署	指令車	富士山803さ1875	トヨタ	27.7	4	1.790		アリオン	
	消防ポンプ自動車	富士山803さ1551	日野	26.2	6	4.000ディーゼル4WD A-2級 2段ハランスターベン	島山ポンプ	CD-1	
	水槽付消防ポンプ自動車	富士山803は20	日野	19.3	13	6.40ディーゼル 4WD A-2 2段ハランスターベン1,5000	島山ポンプ	I-A型	
	救助工作車	富士山803は300	日野	29.12	2	6.40ディーゼル	テイセン	II型	
	救急自動車	富士山803さ1340	トヨタ	25.2	7	2.690	テクノクラフト	高規格	
	その他の車両	富士山481あ4944	ホンダ	21.12	10	0.650 4WD	ホンダ	アクティ	
須走分署	水槽付消防ポンプ自動車	富士山803は23	日野	20.2	12	6.40ディーゼル 4WD A-2 2段ハランスターベン1,5000	島山ポンプ	I-A型	
	救急自動車	富士山803さ699	トヨタ	22.1	9	2.690	テクノクラフト	高規格	
	その他の車両	富士山481え8265	スズキ	30.6	1	0.650 4WD		キャリー	

救助資機材整備状況

令和2年4月1日現在

No.	品名	御殿場消防署	富士岡分署	西分署	小山消防署	須走分署	合計
1	ファイバースコープ	1			1		2
2	夜間用暗視カメラ	1			1		2
3	空気式救助マット	1	1	1	1	1	5
4	油圧救助器具	2	1	1	1	1	6
5	マット型空気ジャッキ	2	1	1	2	1	7
6	油圧アルミジャッキ	6	3	3	5	3	20
7	可搬式けん引機 (TU-16以上)	1	1	1	1	1	5
8	ワイヤーロープ(12mm×3m以上)	11	4	3	5	5	28
9	ワイヤーロープ(16mm×3m以上)	2	2	2		2	8
10	シャックル3/4インチ	6	3	3	4	3	19
11	シャックル7/8インチ	9	3	3	4	3	22
12	滑車ダブル(オフ式スナッチ付き)	2	1	1	1	1	6
13	滑車シングル(アルミ製)	7	2	3	6	4	22
14	ガス溶断機 (背負い式)	2	1	1	2	1	7
15	予備ボンベ(アセチレン・酸素)	2	1	1	2	1	7
16	エンジンカッター	3	2	1	2	2	10
17	チェーンソー	6	1	2	3	2	14
18	削岩機	4	1	1	1		7
19	電動ハンマー	1	1	1	1	1	5
20	衝撃式破壊器具	2	1	1	1	1	6
21	万能斧 (弁慶)	8	2	1	4	1	16
22	発動発電機 (1kW以上)	1	1	1	5	4	12
23	ハロゲン投光器(500W・三脚付き)	9	2	2	5	2	20
24	三連はしご	3	1	1	2	1	8
25	携帯拡声器	12	2	2	6	2	24
26	ナタ・ノコセット	19	8	3	8	5	43
27	大型バール (105cm)	16	6	3	8	7	40
28	ハンマー (3.5kg)	10	5	4	8	5	32
29	掛矢	8	5	4	7	3	27
30	ナイロンロープ (12mm×200m)	4	2				6
31	クレモナロープ (10mm×100m)		1	1			2
32	カラビナ (スチール0型)	39	38	10	56	25	168
33	折り畳み担架及び平担架	2	1	1	3	1	8
34	バスケット型担架	2	1	1	1	1	6
35	個人線量計	13					13
36	γ線及びX線用線量率計	3			1		4
37	表面汚染測定器(α, β, γ, X線)	1					1

※車両積載資機材含む

令和2年度水防費・災害対策費当初予算額

(単位：千円)

目	節	御殿場市			小山町		
		令和2年度	令和元年度	比較	令和2年度	令和元年度	比較
水防費		223	216	7	505	294	211
	報酬	7	7	0	28	28	0
	職員手当等	5	5	0	300	90	210
	報償費			0			0
	旅費			0	17	17	0
	需用費	183	176	7	13	13	0
	役務費			0	147	15	132
	委託料			0			0
	使用料及び賃借料			0		131	△ 131
	原材料費	28	28	0			0
災害対策費		111,299	101,635	9,664	36,742	36,124	573
	報酬	5,041	81	4,960	1,737	32	1,705
	職員手当等	1,060		1,060	11,406	8,251	3,155
	共済費	914	963	△ 49	5,500	4,477	1,023
	賃金		6,049	△ 6,049		2,162	△ 2,162
	報償費			0	250	103	147
	旅費	239	60	179	316	270	46
	需用費	13,565	16,940	△ 3,375	10,000	10,466	△ 466
	役務費	2,989	2,972	17	418	349	69
	委託料	16,814	11,263	5,551	1,350	1,350	0
	使用料及び賃借料	806	799	7		40	△ 40
	工事請負費			0			0
	原材料費			0			0
	備品購入費	3,403	4,281	△ 878	1,062	3,474	△ 2,412
	負担金補助及び交付金	46,468	38,202	8,266	4,647	5,150	△ 503
公課費		25	△ 25	56		56	
繰出金	20,000	20,000	0		45	△ 45	

消防水利現況

御殿場市

令和2年4月1日現在

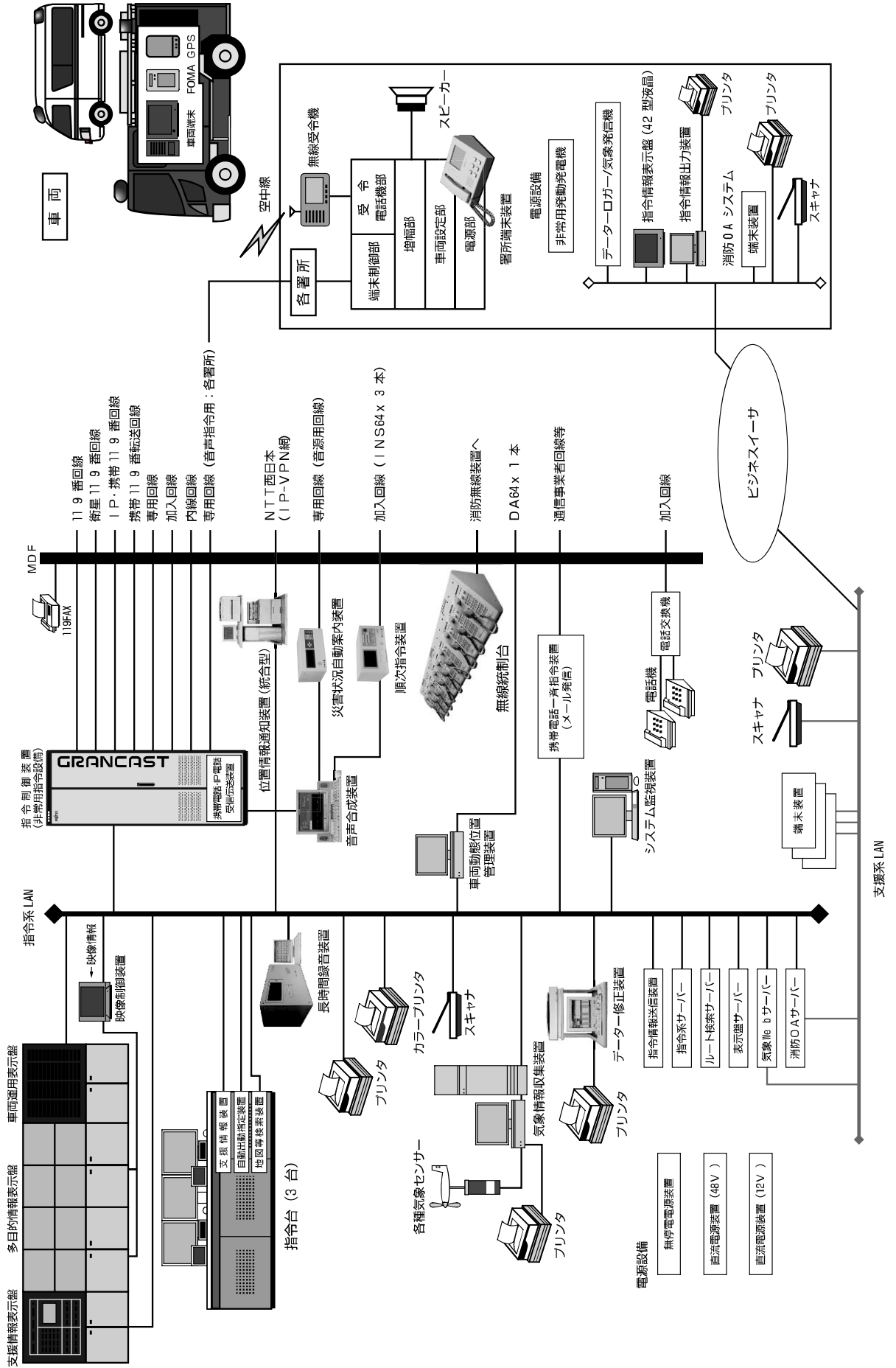
水利の別		分団・地区		合計	御第一 殿分 場団	富第二 士分 岡団	原第三 分 里団	玉第四 分 穂団	印第五 分 野団	高第六 分 根団
		公設	私設							
合計				2,964	992	612	609	353	129	269
防 火 水 槽	100 m ³ 以上	公設	19	8	3	6	1			1
		私設	13		9	2				2
	60 m ³ 以上100 m ³ 未満	公設	14	3	3	6	1	1		
		私設	35	13	7	12	1	1		1
	40 m ³ 以上60 m ³ 未満	公設	330	85	52	67	47	30		49
		私設	297	106	62	76	22	8		23
	40 m ³ 未満	公設	151	5	18	43	36	45		4
		私設	83	30	20	20	10			3
	小計	公設	514	101	76	122	85	76		54
		私設	428	149	98	110	33	9		29
消 火 栓	公設	1,915	716	393	364	229	42		171	
	私設	28	13	1	7	3			4	
プ ー ル		18	5	4	6	1	1		1	
池 ・ そ の 他		5	1			1	1		2	
堰 止 施 設		56	7	40		1			8	

小山町

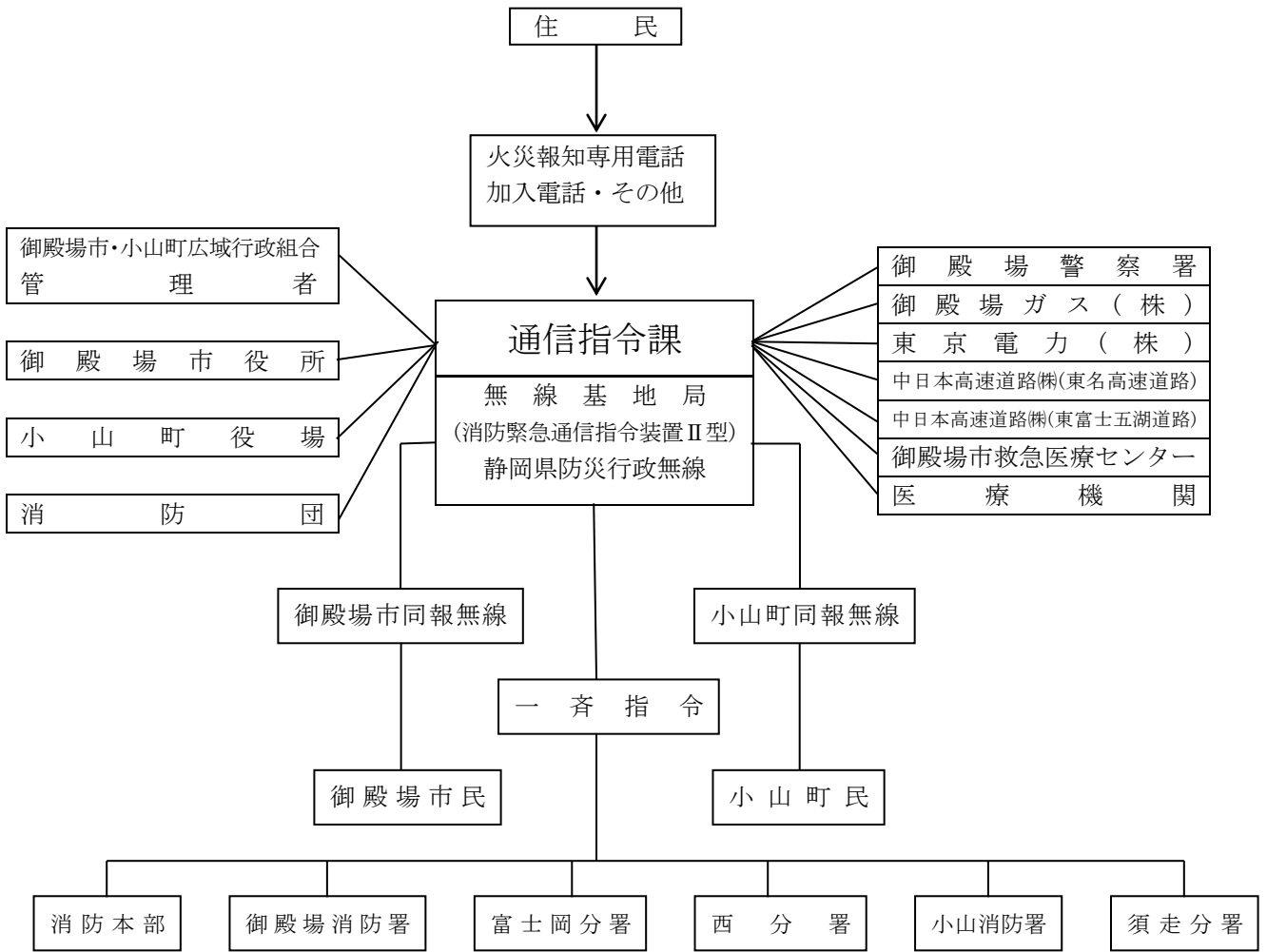
令和2年4月1日現在

水利の別		分団・地区	合計	小第一	菅第二	藤第三	足第四	北第五	北第六	須第七
				分山	分沼	分曲	分柄	分郷北	分郷南	分走
合計			963	119	79	118	112	188	220	127
防	100m ³ 以上	公設	0	0	0	0	0	0	0	0
		私設	0	0	0	0	0	0	0	0
火	60m ³ 以上100m ³ 未満	公設	1	1	0	0	0	0	0	0
		私設	2	0	0	0	1	1	0	0
水	40m ³ 以上60m ³ 未満	公設	155	12	10	18	15	29	38	33
		私設	22	3	2	0	2	5	5	5
槽	40m ³ 未満	公設	16	1	0	4	5	1	1	4
		私設	6	0	0	0	0	1	2	3
小	計	公設	172	14	10	22	20	30	39	37
		私設	30	3	2	0	3	7	7	8
消	火	公設	636	95	55	74	77	115	143	77
		私設	33	2	0	6	0	23	1	1
プ	一	ル	8	0	1	2	2	2	0	1
池	・	その他	0	0	0	0	0	0	0	0
堰	止	施設	84	5	11	14	10	11	30	3

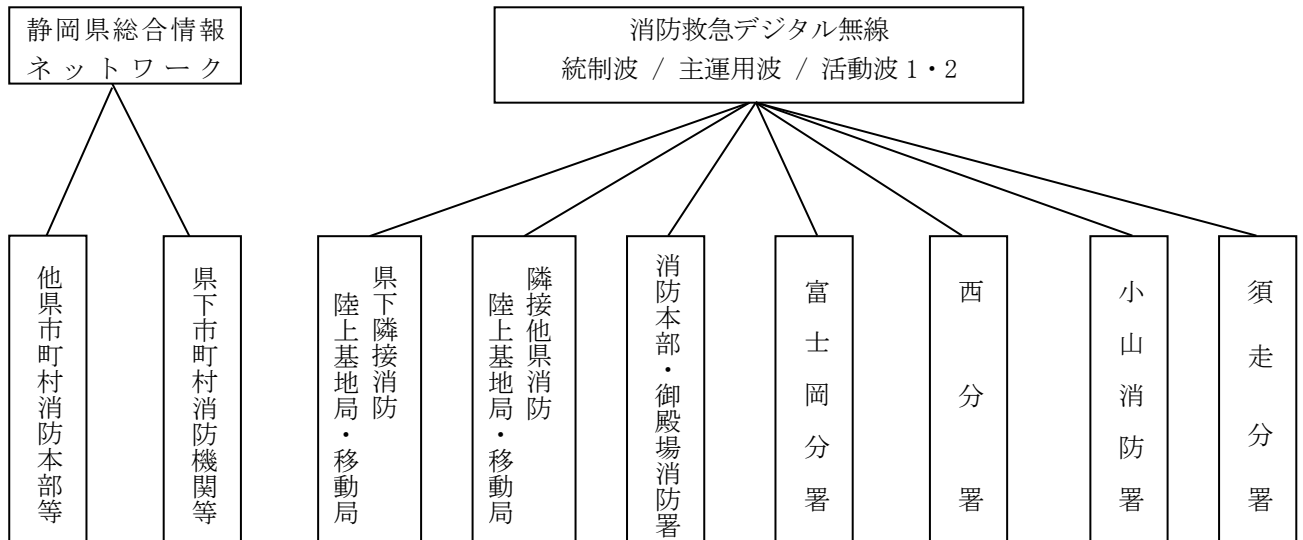
高機能消防指令システム系統図



通信系統図



無線系統図



無線基地局

令和2年4月1日現在

波	基地局名	ごてんば しょうぼう	おやま しょうぼう	ごてんばしょうぼう たろうがおとんねる	ごてんばしょうぼう しんつがらのとんねる
	デジタル無線	活動波 1	10W		
	活動波 2	10W	10W		
	主運用波	10W			
	統制波	10W		10W	10W

デジタル無線陸上移動局

令和2年4月1日現在

区分 配置	名称	活動波 1	活動波 2	主運用波	統制波 1	統制波 2	統制波 3	出力 W	区分 配置	名称	活動波 1	活動波 2	主運用波	統制波 1	統制波 2	統制波 3	出力 W			
		消防本部・御殿場消防署	ごてんば 1	○	○	○	○	○			○	10	西 分 署	ごてんば 4	○	○	○	○	○	○
	ごてんば 2	○	○	○	○	○	○	10		54 (卓上)	○	○		○	○	○	○	10		
	すいそう1	○	○	○	○	○	○	10		さぎよう4	○	○		○	○	○	○	10		
	かがく1	○	○	○	○	○	○	10		きゆうきゆう4	○	○		○	○	○	○	10		
	はしご1	○	○	○	○	○	○	10		401 (携帯)	○	○		○	○	○	○	5		
	きゆうじよ1	○	○	○	○	○	○	10		402 (携帯)	○	○		○	○	○	○	5		
	しき 1	○	○	○	○	○	○	10		403 (携帯)	○	○		○	○	○	○	5		
	61 (可搬型)	○	○	○	○	○	○	10		小計	7	7		7	7	7	7			
	さぎよう1	○	○	○	○	○	○	10		署活動用	6						1			
	しえん1	○	○	○	○	○	○	10	小 山 消 防 署	おやま 1	○	○		○	○	○	○	10		
	きゆうきゆう1	○	○	○	○	○	○	10			ごてんば 2	○		○	○	○	○	○	10	
	きゆうきゆう2	○	○	○	○	○	○	10			きゆうじよ1	○		○	○	○	○	○	10	
	ほんぶ1	○	○	○	○	○	○	10			しき 1	○	○	○	○	○	○	10		
	ほんぶ2	○	○	○	○	○	○	10			51 (卓上型)	○	○	○	○	○	○	10		
	ほんぶ3	○	○	○	○	○	○	10			61 (可搬型)	○	○	○	○	○	○	10		
	ほんぶ4	○	○	○	○	○	○	10			さぎよう1	○	○	○	○	○	○	10		
	ほんぶ51 (卓上型)	○	○	○	○	○	○	10			きゆうきゆう1	○	○	○	○	○	○	10		
	101 (携帯)	○	○	○	○	○	○	5			101 (携帯)	○	○	○	○	○	○	5		
	102 (携帯)	○	○	○	○	○	○	5			102 (携帯)	○	○	○	○	○	○	5		
	103 (携帯)	○	○	○	○	○	○	5			103 (携帯)	○	○	○	○	○	○	5		
	104 (携帯)	○	○	○	○	○	○	5			104 (携帯)	○	○	○	○	○	○	5		
	105 (携帯)	○	○	○	○	○	○	5		105 (携帯)	○	○	○	○	○	○	5			
	106 (携帯)	○	○	○	○	○	○	5		106 (携帯)	○	○	○	○	○	○	5			
	107 (携帯)	○	○	○	○	○	○	5		107 (携帯)	○	○	○	○	○	○	5			
	108 (携帯)	○	○	○	○	○	○	5		小計	15	15	15	15	15	15				
	109 (携帯)	○	○	○	○	○	○	5		署活動用	9						1			
	110 (携帯)	○	○	○	○	○	○	5	須 走 分 署	おやま 3	○	○	○	○	○	○	10			
	111 (携帯)	○	○	○	○	○	○	5			53 (卓上型)	○	○	○	○	○	○	10		
	112 (携帯)	○	○	○	○	○	○	5			さぎよう3	○	○	○	○	○	○	10		
	201 (携帯)	○	○	○	○	○	○	5			きゆうきゆう3	○	○	○	○	○	○	10		
	202 (携帯)	○	○	○	○	○	○	5			301 (携帯)	○	○	○	○	○	○	5		
	203 (携帯)	○	○	○	○	○	○	5			302 (携帯)	○	○	○	○	○	○	5		
	204 (携帯)	○	○	○	○	○	○	5			303 (携帯)	○	○	○	○	○	○	5		
	205 (携帯)	○	○	○	○	○	○	5			小計	7	7	7	7	7	7			
	小計	34	34	34	34	34	34				署活動用	6						1		
	署活動用	25						1												
富士岡分署	ごてんば 3	○	○	○	○	○	○	10		区分 配置	名称	活動波 1	活動波 2	主運用波	統制波 1	統制波 2	統制波 3			
	53 (卓上型)	○	○	○	○	○	○	10				車載型	30	30	30	30	30	30	30	
	さぎよう3	○	○	○	○	○	○	10	卓上型			5	5	5	5	5	5	5		
	きゆうきゆう3	○	○	○	○	○	○	10	可搬型			2	2	2	2	2	2	2		
	301 (携帯)	○	○	○	○	○	○	5	携帯型			33	33	33	33	33	33	33		
	302 (携帯)	○	○	○	○	○	○	5	合計			70	70	70	70	70	70	70		
	303 (携帯)	○	○	○	○	○	○	5	署活動用 合計			52								
	小計	7	7	7	7	7	7													
	署活動用	6						1												

陸上移動局（防災相互通信波）

令和2年4月1日現在

名 称	防 災 相 互 通 信 波	出 力 （ W ）
ごてんばぼうたい 52（可 搬 型）	○	10
〃 53（可 搬 型）	○	10
〃 201（携 帯 型）	○	5
〃 202（携 帯 型）	○	5
〃 203（携 帯 型）	○	5
〃 204（携 帯 型）	○	5
〃 205（携 帯 型）	○	5
〃 207（携 帯 型）	○	5
〃 208（携 帯 型）	○	5
ふじおかぼうたい 52（可 搬 型）	○	10
〃 201（携 帯 型）	○	5
〃 202（携 帯 型）	○	5
にしぼうたい 52（可 搬 型）	○	10
〃 201（携 帯 型）	○	5
〃 202（携 帯 型）	○	5
おやまぼうたい 52（可 搬 型）	○	10
〃 201（携 帯 型）	○	5
〃 202（携 帯 型）	○	5
すばしりぼうたい 52（可 搬 型）	○	10
〃 201（携 帯 型）	○	5
〃 202（携 帯 型）	○	5

可搬型	6
携帯型	15
合計	21

通信施設・電話

令和2年4月1日現在

区 分		種 別	数	摘 要	
消 防 本 部	管理課	一般加入電話	1	82-4628	
		F A X	1	82-7153	
	予防課	一般加入電話	1	83-0119	
	警防課	一般加入電話	1	83-8151	
	通信指令課	一般加入電話	1	83-8152	
		1 1 9	30	御殿場局 5局・玉穂局 4局・神山局 2局・衛星局 1局 小山局 2局・用沢局 2局・須走局 2局・直接受信携帯電話 3局 ソフトバンク 3局・NTTひかり 2局・KDDI 1局 楽天コミュニケーションズ 2局・CTC 1局	
		緊急連絡用電話	1	発信専用(指令台)順次指令	
		専用回線	34	富士岡分署、西分署、小山消防署、須走分署 御殿場市役所、小山町役場、警察署 東名高速道路、東富士五湖道路 東京電力(株)外付け 病院・医院・御殿場市救急医療センター等	
			F A X	2	83-8180 (聴覚障害者用・83-8383)
			災害・一般案内	1	84-5000
消 防 署	御殿場消防署	一般加入電話	3	82-7150・82-7151・82-7152	
		F A X	1	82-7154	
	富士岡分署	一般加入電話	1	87-0119	
		F A X	1	87-2286	
	西分署	一般加入電話	1	88-0119	
		F A X	1	88-0750	
	小山消防署	一般加入電話	1	76-0119	
		F A X	1	76-5435	
		緊急連絡用電話	1	非公開	
	須走分署	一般加入電話	1	75-2001	
		F A X	1	75-3385	

火災報知専用電話・携帯電話別 119番受付回数

令和元年

種別 月	合計	小計		火災		救急		救助		通報訓練		病院案内		いちがいらい		警戒		その他		試験	
		火災報知専用	携帯	専用	携帯	専用	携帯	専用	携帯	専用	携帯	専用	携帯	専用	携帯	専用	携帯	専用	携帯	専用	携帯
合計	6,120	4,013	2,107	41	38	3,065	1,780	23	23	200	9	11	18	47	121	26	18	50	66	550	34
1月	545	398	147	3	4	335	120	1	1	3	0	2	3	3	12	2	2	2	5	47	0
2月	437	290	147	3	0	215	126	1	0	15	1	1	3	9	14	1	0	2	3	43	0
3月	525	354	171	3	1	247	153	0	1	33	2	0	1	5	9	0	1	17	3	49	0
4月	464	318	146	2	3	257	121	2	0	5	2	0	0	5	13	3	2	2	4	42	1
5月	495	326	169	4	1	247	146	0	1	11	0	1	2	5	7	0	0	0	6	58	6
6月	466	303	163	4	1	221	134	0	2	16	2	1	0	5	11	0	1	1	4	55	8
7月	526	324	202	7	5	238	164	6	4	12	0	0	3	4	6	3	0	7	1	47	19
8月	600	361	239	5	4	283	203	7	9	8	0	0	0	5	17	1	1	1	5	51	0
9月	506	343	163	1	4	276	135	3	1	22	1	3	1	1	12	1	1	4	8	32	0
10月	517	314	203	4	0	241	175	0	4	18	0	0	2	1	8	10	6	2	8	38	0
11月	495	348	147	3	1	236	129	1	0	45	1	2	2	1	3	4	3	4	8	52	0
12月	544	334	210	2	14	269	174	2	0	12	0	1	1	3	9	1	1	8	11	36	0

火災概要

区 分		令和元年	平成30年	増 減	
火災件数	建 物 火 災	11	12	△ 1	
	林 野 火 災		1	△ 1	
	車 両 火 災	13	4	9	
	船 舶 火 災			0	
	航 空 機 火 災			0	
	そ の 他 火 災	9	9	0	
	計	33	26	7	
損害額 (千円)	建 物 火 災	81,504	2,094	79,410	
	林 野 火 災			0	
	車 両 火 災	6,800	2,757	4,043	
	船 舶 火 災			0	
	航 空 機 火 災			0	
	そ の 他 火 災	83	60	23	
	計	88,387	4,911	83,476	
焼 損 面積等	出火建物 (㎡)	床面積	447	51	396
		表面積	1		1
	林 野 (a)	66	55	11	
	車 両 (台)	16	4	12	
焼損棟数	全 焼	4	1	3	
	半 焼			0	
	部 分 焼	2	4	△ 2	
	ぼ や	5	7	△ 2	
	計	11	12	△ 1	
り 災 世 帯	全 損	1		1	
	半 損			0	
	小 損	4	7	△ 3	
	計	5	7	△ 2	
り 災 人 員		10	10	0	
死 傷 者 (人)	死 者			0	
	負 傷 者	11	3	8	
月 平 均	火 災 件 数 (件)	3	2	1	
	損 害 額 (千 円)	7,366	409	6,957	
全火災1件当りの損害額 (千円)		2,678	189	2,489	

過去 10 年間の火災発生状況の推移

年	火災	損害額(千円)	焼 損 延 面 積 等			焼損棟数	り 災 世 帯	死者	負 傷 者
			建物(㎡)	林野(a)	車両(台)				
令和元年	33	88,387	447	-	16	11	5	-	11
平成30年	26	4,911	51	55	4	12	7	-	3
平成29年	46	23,665	381	92	13	24	15	3	1
平成28年	23	13,879	410	5	6	14	6	1	2
平成27年	36	48,590	485	73	8	16	7	1	2
平成26年	29	52,725	434	20	5	20	6	-	2
平成25年	39	58,473	258	5,082	16	12	7	-	11
平成24年	38	51,558	459	39	8	26	11	3	7
平成23年	55	117,518	721	341	21	31	17	3	8
平成22年	30	81,410	641	27	14	13	5	1	1

市町等別火災発生状況

令和元年

市町別	種別	件数	損害額 (千円)	焼失面積等				棟焼 数損 (棟)	り災		死傷数	
				出火建物(㎡)		林野 (a)	車両 (台)		世帯 (世帯)	人員 (人)	死者 (人)	負傷者 (人)
				床面積	表面積							
合計	建物	11	81,504	447	1		2	11	5	10		8
	林野											
	車両	13	6,800				14					1
	その他	9	83			66						2
	合計	33	88,387	447	1	66	16	11	5	10	0	11
御殿場市	建物	9	71,079	404			2	9	3	6		1
	林野											
	車両	5	4,743				6					
	その他	7	52			18						1
	小計	21	75,874	404	0	18	8	9	3	6	0	2
小山町	建物	2	10,425	43	1			2	1	4		1
	林野											
	車両	2	105				2					
	その他	2	31			48						
	小計	6	10,561	43	1	48	2	2	1	4	0	1
東名高速 道路	建物											
	林野											
	車両	6	1,952				6					
	その他											
	小計	6	1,952	0	0	0	6	0	0	0	0	0

地区別火災発生状況

令和元年

御殿場市			小山町			東名高速道路		
地区別	件数	損害額(千円)	地区別	件数	損害額(千円)	地区別	件数	損害額(千円)
合計	21	75,874	合計	6	10,561	合計	6	1,952
御殿場	10	37,565	小山	1	0	御殿場市内上り線	1	30
富士岡	8	709	足柄	1	49	御殿場市内下り線	1	218
原里	1	37,350	北郷	3	10,437	小山町内上り線	1	636
玉穂	1	0	須走	1	75	小山町内下り線	3	1,068
印野								
高根	1	250						

月別火災発生件数

令和元年

区分 月別	火災種別(件)					(構 成 比 率)	損害額(千円)					焼失面積等			
	建 物	林 野	車 両	そ の 他	計		建 物	林 野	車 両	そ の 他	計	出火建物 (㎡)	林野・ その他 (a)	車 両 (台)	
合計	11	0	13	9	33	100.0	81,504	0	6,800	83	88,387	床	447	66	16
1月	1			3	4	12.1	0			4	4	床		48	
2月	1				1	3.0	17				17	床	7		
3月			2	1	3	9.1			770	29	799	床			2
4月			2	2	4	12.1			4,001	18	4,019	床		18	3
5月			3		3	9.1			329		329	床			3
6月	2				2	6.1	10,385				10,385	床	43		
7月	1		1		2	6.1	494		218		712	床	10		1
8月	1		2	1	4	12.1	49		135	1	185	床			2
9月				1	1	3.0				0	0	床			
10月	2		1		3	9.1	194		636		830	床			1
11月	1			1	2	6.1	34			31	65	床	11		
12月	2		2		4	12.1	70,331		711		71,042	床	376		4

時間別火災発生件数

令和元年

時間 種別	合計	0時～	2時～	4時～	6時～	8時～	10時～	12時～	14時～	16時～	18時～	20時～	22時～	不明
		2時未満	4時未満	6時未満	8時未満	10時未満	12時未満	14時未満	16時未満	18時未満	20時未満	22時未満	24時未満	
建物	11				1		2	2	2	2			1	1
林野	0													
車両	13		1	1	2				2	3	2	1	1	
その他	9			1	1		1	2	2	2				
計	33	0	1	2	4	0	3	4	6	7	2	1	2	1

覚知別火災発生件数

令和元年

市町別 種別	御 殿 場 市								
	小 計	火災報知電話 (加入除く)	火災報知電 話(加入)	火災報知電 話(携帯)	加入電話 (固定)	加入電話 (携帯)	警察電話	事後開知	その他
建物	9	2		3			1	3	
林野	0								
車両	5	1		2			1	1	
その他	7	1		6					
計	21	4	0	11	0	0	2	4	0

市町別 種別	小 山 町								
	小 計	火災報知電話 (加入除く)	火災報知電 話(加入)	火災報知電 話(携帯)	加入電話 (固定)	加入電話 (携帯)	警察電話	事後開知	その他
建物	2			2					
林野	0								
車両	2			1			1		
その他	2			2					
計	6	0	0	5	0	0	1	0	0

市町別 種別	東 名 高 速 道 路			
	小 計	火災報知電話 (携帯)	加入電話 (携帯)	その他
建物	0			
林野	0			
車両	6	3		3
その他	0			
計	6	3	0	3

原因別火災発生件数

令和元年

出火原因	区 分	件 数				計	損 害 額 (千円)					焼失面積等		
		建 物	林 野	車 両	そ の 他		建 物	林 野	車 両	そ の 他	計	出火建物 (㎡)	林野 (a)	車両 (台)
合計		11	0	13	9	33	81,504	0	6,800	83	88,387	床 表 447.0	66	16
こんろ		2				2	23				23	床 表 7.0		
焼却炉		1				1	494				494	床 表 10.0		
ストーブ		1				1	32,981				32,981	床 表 213.0		
排気管				4		4			997		997	床 表		4
電気機器		1				1	9				9	床 表		
電気装置				1		1			250		250	床 表		1
電灯・電話等の配線					1	1			31		31	床 表		
火あそび					1	1					0	床 表	3	
マッチ・ライター					1	1					0	床 表		
溶接機・切断機		1				1	10,376				10,376	床 表 43.0		
火入れ					1	1			18		18	床 表	15	
放火・放火の疑い		1		1	1	3		3,814	1	3,815	床 表			2
その他		3		7	3	13	37,587		1,739	29	39,355	床 表 163.0 1.0	48	9
不明		1			1	2	34			4	38	床 表 11.0		

月別・事故種別救急活動状況

令和元年

事故種別 覚知月		火災	自然 災害	水難 事故	交通 事故	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加害	自損 行為	急病	転院 搬送	医師 搬送	資器材 等搬送	その他	合計
1	出動件数				26	5	1	60			277	90			2	461
	搬送件数				24	5	1	55			251	90				426
	搬送人員				30	5	1	55			251	90				432
2	出動件数				22		1	44	2	1	211	64				345
	搬送件数				22		1	41	2	1	190	64				321
	搬送人員				27		1	41	2	1	190	64				326
3	出動件数			1	30	5	6	37	1	2	243	84			2	411
	搬送件数			1	28	5	6	36	1	1	223	84				385
	搬送人員			1	29	5	6	36	1	1	223	84				386
4	出動件数				28	5	2	44	2	1	201	97			1	381
	搬送件数				26	5	2	42	2	1	177	97				352
	搬送人員				29	5	2	42	3	1	178	97				357
5	出動件数				35	10	4	48		4	218	78				397
	搬送件数				33	10	4	44		3	194	78				366
	搬送人員				43	10	4	44		3	194	78				376
6	出動件数	1			27	2	9	58	3	9	187	72				368
	搬送件数	1			24	2	9	55	3	6	172	72				344
	搬送人員	1			28	2	9	57	3	6	172	72				350
7	出動件数				37	6	6	63		4	224	69				409
	搬送件数				33	6	6	59		1	200	69				374
	搬送人員				42	6	6	59		1	200	69				383
8	出動件数	1			56	11	10	73		2	259	83				495
	搬送件数	1			51	11	9	65			237	82				456
	搬送人員	1			65	11	11	70			237	82				477
9	出動件数	1			37	6	6	63	3	2	215	85				418
	搬送件数	1			35	6	6	58	2	1	197	85				391
	搬送人員	1			42	6	6	58	2	1	197	85				398
10	出動件数	4		1	43	6	2	54	2	7	225	75			2	421
	搬送件数	3		1	41	6	2	51	2	5	206	74				391
	搬送人員	5		1	51	6	2	51	2	5	206	74				403
11	出動件数	1			33	1	4	58		3	193	74			2	369
	搬送件数	1			29	1	4	53			180	74			1	343
	搬送人員	1			33	1	4	53			180	74			2	348
12	出動件数	2		1	24	4	3	67	2	5	268	71			2	449
	搬送件数	2			22	3	3	60		5	234	71				400
	搬送人員	2			23	3	3	60		5	234	71				401
合計	出動件数	10	0	3	398	61	54	669	15	40	2,721	942	0	0	11	4,924
	搬送件数	9	0	2	368	60	53	619	12	24	2,461	940	0	0	1	4,549
	搬送人員	11	0	2	442	60	55	626	13	24	2,462	940	0	0	2	4,637

地区別・事故種別出動件数及び搬送人員

令和元年

出動地区	事故種別	火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	医師搬送	資器材等搬送	その他	合計
		御殿場	出動件数 7 搬送人員 8				95 99	11 11	9 9	222 200	7 7	17 5	943 822	595 594		
高根	出動件数 搬送人員			1 1	15 19	3 3	2 2	28 28	1 1	1 1	121 112	1 1				173 167
原里	出動件数 搬送人員	1 1			64 74	15 14	3 4	70 61	1 1	8 7	388 363	153 152			1	704 677
玉徳	出動件数 搬送人員			1	33 32	6 6	11 11	67 65	2 1	2 2	244 223	72 74			1	439 414
印野	出動件数 搬送人員				5 7	1 1	1 1	12 12	1 1		49 44				1	70 66
富士岡	出動件数 搬送人員	1 1		1 1	60 63	8 8	18 19	123 124	2 2	2 2	422 391	37 37			1	675 648
小計	出動件数 搬送人員	9 10	0 0	3 2	272 294	44 43	44 46	522 490	14 12	30 17	2,167 1,955	858 858	0 0	0 0	9 0	3,972 3,727
小山	出動件数 搬送人員				15 13	5 5		58 53		1 1	166 157	3 3				248 232
足柄	出動件数 搬送人員				4 4	2 2		19 17		2 1	64 58	1 1			1	93 83
北郷	出動件数 搬送人員	1 1			26 27	8 8	10 9	33 29		2 2	150 137	77 77				307 290
須走	出動件数 搬送人員				20 23	1 1		28 28		3 3	110 104	3 3				165 162
小計	出動件数 搬送人員	1 1	0 0	0 0	65 67	16 16	10 9	138 127	0 0	8 7	490 456	84 84	0 0	0 0	1 0	813 767
東名上り	出動件数 搬送人員				49 71			5 5		1 1	33 27				1	89 103
東名下り	出動件数 搬送人員				7 4			4 4	1 1	1 1	29 23					42 32
御殿場IC	出動件数 搬送人員										2 1					2 1
新東名	出動件数 搬送人員				2 3											2 3
小計	出動件数 搬送人員				58 78			9 9	1 1	2 1	64 51				1	135 139
その他	出動件数 搬送人員				3 3	1 1										4 4
合計	出動件数 搬送人員	10 11	0 0	3 2	398 442	61 60	54 55	669 626	15 13	40 24	2,721 2,462	942 942	0 0	0 0	11 0	4,924 4,637

地区別・傷病程度別・性別搬送人員

令和元年

出動地区	傷病程度 性別	死亡	重症	中等症	軽症	その他	合計	男性	女性
		御殿場	25	185	945	600	0	1,755	937
高根	13	20	78	56	0	167	98	69	
原里	13	87	341	236	0	677	352	325	
玉徳	6	44	205	159	0	414	228	186	
印野	2	5	29	30	0	66	35	31	
富士岡	14	45	308	281	0	648	358	290	
小計	73	386	1,906	1,362	0	3,727	2,008	1,719	
小山	5	24	107	96	0	232	116	116	
足柄	4	10	42	27	0	83	46	37	
北郷	7	30	171	82	0	290	188	102	
須走	3	9	81	69	0	162	98	64	
小計	19	73	401	274	0	767	448	319	
東名上り	2	3	26	72	0	103	58	45	
東名下り	0	4	6	22	0	32	19	13	
御殿場IC	0	0	1	0	0	1		1	
新東名上り	0	0	0	0	0	0	0	0	
新東名下り	0	0	2	1	0	3	1	2	
小計	2	7	35	95	0	139	78	61	
その他	0	0	2	2	0	4	3	1	
合計	94	466	2,344	1,733	0	4,637	2,537	2,100	

署別・月別出動件数及び搬送人員

令和元年

覚知月 出動署		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
御殿場消防署	出動件数	173	140	161	147	168	149	165	170	148	168	161	197	1,947
	搬送人員	159	129	152	137	155	136	157	162	134	153	149	164	1,787
富士岡分署	出動件数	80	55	60	57	65	55	59	77	71	71	56	68	774
	搬送人員	76	52	58	53	59	50	56	79	67	69	54	62	735
西分署	出動件数	109	84	111	98	86	106	109	123	111	99	72	101	1,209
	搬送人員	98	82	101	93	85	107	100	121	107	101	70	93	1,158
小山消防署	出動件数	70	49	59	57	55	43	49	86	62	57	59	52	698
	搬送人員	71	46	55	52	54	42	46	78	62	54	54	50	664
須走分署	出動件数	29	17	20	22	23	15	27	39	26	26	21	31	296
	搬送人員	28	17	20	22	23	15	24	37	28	26	21	32	293
消防本部	出動件数													0
	搬送人員													0
合計	出動件数	461	345	411	381	397	368	409	495	418	421	369	449	4,924
	搬送人員	432	326	386	357	376	350	383	477	398	403	348	401	4,637

署別・曜日別出動件数及び搬送人員

令和元年

覚知曜日 出動署		月	火	水	木	金	土	日	合計
御殿場消防署	出動件数	273	271	248	240	296	313	306	1,947
	搬送人員	251	248	236	211	278	285	278	1,787
富士岡分署	出動件数	126	104	99	113	117	105	110	774
	搬送人員	121	96	93	107	114	98	106	735
西分署	出動件数	178	182	168	148	173	180	180	1,209
	搬送人員	167	180	161	141	164	174	171	1,158
小山消防署	出動件数	99	96	95	96	103	93	116	698
	搬送人員	90	90	88	90	100	92	114	664
須走分署	出動件数	38	40	27	39	50	49	53	296
	搬送人員	38	45	25	38	50	47	50	293
消防本部	出動件数								0
	搬送人員								0
合計	出動件数	714	693	637	636	739	740	765	4,924
	搬送人員	667	659	603	587	706	696	719	4,637

曜日別・事故種別救急活動状況

令和元年

曜日		事故種別		火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	医師搬送	資器材等搬送	その他	合計
		出動件数	搬送件数															
月	出動件数	3					57	11	1	105	3	6	374	150			4	714
	搬送件数	3					49	11	1	93	2	5	344	148				656
	搬送人員	3					60	11	1	93	2	5	344	148				667
火	出動件数					66	9	1	72	2	5	393	144				1	693
	搬送件数					61	8	1	67	1	2	357	144					641
	搬送人員					77	8	1	68	1	2	358	144					659
水	出動件数	4		1	32	5			72			7	382	134				637
	搬送件数	3			29	5			69			3	350	134				593
	搬送人員	5			37	5			69			3	350	134				603
木	出動件数	2			49	10	4	90	2	3	354	120					2	636
	搬送件数	2			45	10	4	79	2	2	319	120					1	584
	搬送人員	2			47	10	4	79	2	2	319	120					2	587
金	出動件数	1			69	13	1	104	2	7	406	136						739
	搬送件数	1			67	13	1	96	2	4	370	136						690
	搬送人員	1			78	13	1	101	2	4	370	136						706
土	出動件数			2	51	8	21	115	2	4	401	134					2	740
	搬送件数			2	47	8	20	108	1	4	356	134						680
	搬送人員			2	62	8	20	109	1	4	356	134						696
日	出動件数				74	5	26	111	4	8	411	124					2	765
	搬送件数				70	5	26	107	4	4	365	124						705
	搬送人員				81	5	28	107	5	4	365	124						719
合計	出動件数	10	0	3	398	61	54	669	15	40	2,721	942	0	0	0	0	11	4,924
	搬送件数	9	0	2	368	60	53	619	12	24	2,461	940	0	0	0	0	1	4,549
	搬送人員	11	0	2	442	60	55	626	13	24	2,462	940	0	0	0	0	2	4,637

時間別・事故種別出動件数

令和元年

事故種別 覚知時間	火災	自然 災害	水難 事故	交通 事故	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加害	自損 行為	急病	転院 搬送	医師 搬送	資器材 等搬送	その他	合計
0 ~ 1				2			15		2	65	25			1	110
1 ~ 2				5			7			58	19				89
2 ~ 3							12	2		66	12				92
3 ~ 4				2			8	1		66	10				87
4 ~ 5				3	1		5			55	8				72
5 ~ 6				3	1		13		2	58	9				86
6 ~ 7	1			9	1		14	1	1	92	11				130
7 ~ 8			1	18	2	1	27		3	142	14			1	209
8 ~ 9				27	2	2	38	1	1	154	18			1	244
9 ~ 10				22	11	5	40		1	156	72				307
10 ~ 11	1			13	6	8	57		2	163	79			2	331
11 ~ 12				26	10	6	60		2	152	77			1	334
12 ~ 13			1	20	1	6	47		1	156	86				318
13 ~ 14	3			36	6	2	39			164	60				310
14 ~ 15	2			36	8	5	49		5	130	61			2	298
15 ~ 16				36	5	10	43		1	112	64				271
16 ~ 17				28	4	3	36	2	5	104	52				234
17 ~ 18				34		2	27	2	2	133	53				253
18 ~ 19	2			33	1	1	29		3	155	33				257
19 ~ 20				11			25	2	2	134	44			1	219
20 ~ 21			1	13		2	25	1	1	109	41				193
21 ~ 22				9	1	1	26	1	1	112	35			1	187
22 ~ 23				10	1		19	2	2	106	35			1	176
23 ~ 24	1			2			8		3	79	24				117
合計	10	0	3	398	61	54	669	15	40	2,721	942	0	0	11	4,924

年齢別・性別・事故種別搬送人員

令和元年

事故種別 年齢 性別	火災	自然 災害	水難 事故	交通 事故	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加害	自損 行為	急病	その他	合計	
0~4	男性			6			23			56	40	125	
	女性			4			9			65	32	110	
	計			10			32			121	72	235	
5~9	男性			12		1	14			18	13	58	
	女性			10			2			15	10	37	
	計			22		1	16			33	23	95	
10~19	男性			23	2	26	23			35	16	125	
	女性	1		12		7	6		2	38	5	71	
	計	1		35	2	33	29		2	73	21	196	
20~29	男性			51	9	8	12	1	1	69	13	164	
	女性			32	1		9		2	63	19	126	
	計			83	10	8	21	1	3	132	32	290	
30~39	男性	2		31	2	3	14	2	8	54	27	143	
	女性			26	1	1	7	1		66	23	125	
	計	2		57	3	4	21	3	8	120	50	268	
40~49	男性	2		34	11	5	21	4	2	90	45	215	
	女性			25		2	11		1	74	11	124	
	計	2		59	11	7	32	4	3	164	56	339	
50~59	男性	2		30	14	1	24	3	1	122	52	249	
	女性	1		29	2		23		3	76	23	157	
	計	3		59	16	1	47	3	4	198	75	406	
60~69	男性			27	11		35	1	1	183	73	331	
	女性			20	2	1	24			109	30	186	
	計			47	13	1	59	1	1	292	103	517	
70~79	男性	1		19	4		59			285	96	464	
	女性			25	1		67		3	218	68	382	
	計	1		44	5		126		3	503	164	846	
80以上	男性	1		14			76	1		423	148	663	
	女性	1		12			167			403	198	782	
	計	2		26			243	1		826	346	1,445	
年齢不明	男性												
	女性												
	計												
合計	男性	8	0	1	247	53	44	301	12	13	1,335	523	2,537
	女性	3	0	1	195	7	11	325	1	11	1,127	419	2,100
	計	11	0	2	442	60	55	626	13	24	2,462	942	4,637

傷病程度別・性別・事故種別搬送人員

令和元年

事故種別 傷病程度 性別		火災	自然 災害	水難 事故	交通 事故	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加害	自損 行為	急病	その他	合計
死亡	男性				1			3		6	40	1	51
	女性							5			38		43
	計				1			8		6	78	1	94
重症	男性	2			16	8		11		2	156	99	294
	女性	1			5	2		17	1	2	86	58	172
	計	3			21	10		28	1	4	242	157	466
中等症	男性	3		1	75	33	14	106	2	4	662	386	1,286
	女性			1	40	2	3	153		6	529	324	1,058
	計	3		2	115	35	17	259	2	10	1,191	710	2,344
軽症	男性	3			155	12	30	181	10	1	477	37	906
	女性	2			150	3	8	150		3	474	37	827
	計	5			305	15	38	331	10	4	951	74	1,733
その他	男性												0
	女性												0
	計												0
合計	男性	8	0	1	247	53	44	301	12	13	1,335	523	2,537
	女性	3	0	1	195	7	11	325	1	11	1,127	419	2,100
	計	11	0	2	442	60	55	626	13	24	2,462	942	4,637

救急出動 10 年間の推移

令和元年

区 分		22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	R1年
出 動 件 数		4,136	4,204	4,156	4,162	4,322	4,330	4,499	4,626	4,874	4,924
事 故 種 別	火 災	1	8	10	8	4	5	3	3	3	10
	自 然 災 害	4	6	3		1			2	2	
	水 難 事 故	1		2		1	5	1			3
	交 通 事 故	572	508	462	425	476	386	430	449	441	398
	労 働 災 害	41	45	33	51	48	52	44	46	67	61
	運 動 競 技	15	18	13	21	26	29	33	33	34	54
	一 般 負 傷	507	549	563	596	598	591	586	588	665	669
	加 害	20	14	22	16	19	12	12	12	9	15
	自 損 行 為	66	60	45	46	45	38	37	38	44	40
	急 病	2,096	2,187	2,207	2,226	2,293	2,384	2,511	2,526	2,705	2,721
そ の 他	813	809	796	773	811	828	842	929	904	953	
搬 送 件 数		3,809	3,875	3,845	3,912	4,098	4,107	4,222	4,295	4,580	4,549
搬 送 人 員		3,926	3,978	3,935	4,008	4,175	4,192	4,310	4,399	4,646	4,637
内 訳	男 性	2,238	2,279	2,187	2,297	2,351	2,355	2,447	2,445	2,597	2,537
	女 性	1,688	1,699	1,748	1,711	1,824	1,837	1,863	1,954	2,049	2,100
病 程 度	死 亡	126	122	113	139	113	103	79	68	85	94
	重 症	346	337	315	287	323	369	456	426	468	466
	中 等 症	1,636	1,578	1,617	1,690	1,736	1,905	2,085	2,195	2,279	2,344
	軽 症	1,816	1,940	1,888	1,892	2,003	1,815	1,690	1,709	1,814	1,733
	そ の 他	2	1	2					1		

※傷病程度のその他は医師の診断のないものをいう

※事故種別のその他には、転院搬送・医師搬送・資機材搬送・その他が含まれる

東名高速道路月別・事故種別出動件数

令和元年

月 事故種別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
火 災													0
自然災害													0
水難事故													0
交通事故	3	2	3	3	8	3	6	9	6	9	1	5	58
労働災害													0
運動競技													0
一般負傷	2			1			2	1	1		2		9
加 害		1											1
自損行為						1			1				2
急 病	4	1	3	3	8	5	4	9	4	9	4	10	64
そ の 他				1									1
合 計	9	4	6	8	16	9	12	19	12	18	7	15	135

東名高速道路傷病程度別・事故種別搬送人員

令和元年

事故種別 傷病程度	火 災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加 害	自損行為	急 病	そ の 他	合 計
死 亡				1			1					2
重 症				1						6		7
中等症				15			4			16		35
軽 症				61			4	1		29		95
その他												0
合 計	0	0	0	78	0	0	9	1	0	51	0	139

東名高速道路救急出動 10 年間の推移

令和元年

区 分	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	R1年
出 動 件 数	114	98	110	105	113	111	124	149	124	135
事 故 種 別	火 災					1		1		
	自然災害			1						
	水難事故									
	交通事故	76	43	49	52	61	37	48	56	56
	労働災害			1	2		1	1		
	運動競技									
	一般負傷	4	10	5	11	7	12	12	18	4
	加 害					1				1
	自損行為	3	1		1		1	1		2
	急 病	29	42	54	39	43	60	62	74	61
そ の 他	2	2								
搬 送 件 数	97	89	97	95	99	96	110	131	109	
搬 送 人 員	125	101	108	125	116	113	128	170	126	
内 訳	男 性	83	66	64	75	80	77	81	101	
	女 性	42	35	44	50	36	36	47	69	
傷 病 程 度	死 亡	1	2	2	2	1	3	1	2	
	重 症	1	6	5	4	3	5	4	7	
	中 等 症	24	19	24	23	26	31	39	62	
	軽 症	99	74	77	96	86	74	84	106	
	そ の 他									

※傷病程度のその他は医師の診断のないものをいう

※事故種別のその他には、転院搬送・医師搬送・資機材等搬送・その他が含まれる

救助業務実施状況

令和元年

区分	年	R1年								30年 件数	
		件数	御殿場市		小山町		東名高速道路		管轄外		
			件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数		構成比
出動件数	62	39	62.9%	20	32.3%	2	3.2%	1	1.6%		
活動件数	48	29	60.4%	17	35.4%	1	2.1%	1	2.1%		
救助人員	53	34	64.2%	17	32.1%	1	1.9%	1	1.9%		
出動車両数	192	124	64.6%	57	29.7%	7	3.6%	4	2.1%		
出動延べ人員	545	368	67.5%	143	26.2%	22	4.0%	12	2.2%		

※管轄外とは御殿場市、小山町、東名高速道路を除く地域（神奈川県、山梨県、裾野市等）

救助業務事故種別・曜日・祝日等別出動件数

令和元年

事故種別	曜日	合計	曜日							祝日等
			日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	
合計		62	12	7	11	6	4	13	9	1
火災										
交通事故		23	3	1	8	3	2	4	2	
水難事故		4		2					2	
自然災害										
機械等による事故		1						1		
建物等による事故		3				1		2		
ガス事故・酸欠事故										
破裂事故										
その他		31	9	4	3	2	2	6	5	1

※祝日等は内数として表示

時間別救助出動状況

令和元年

時間	合計	0～2	2～4	4～6	6～8	8～10	10～12	12～14	14～16	16～18	18～20	20～22	22～24
件数	62	2	0	2	3	9	5	8	6	8	9	5	5

御殿場市消防団

沿革

昭和30年2月11日、御殿場町、富士岡村、原里村、玉穂村及び印野村の1町4村の合併により御殿場市が誕生した。それに伴って消防団も合併し、御殿場市消防団として発足した。旧御殿場町を第1分団、旧富士岡村を第2分団、旧原里村を第3分団、旧玉穂村を第4分団、旧印野村を第5分団とし、団員611名、ポンプ自動車8台、可搬式ポンプ20台、腕用ポンプ29台で活動を開始した。

昭和31年1月1日に高根村が御殿場市と合併し、第6分団となり、団員733名、ポンプ自動車9台、可搬式ポンプ27台、腕用ポンプ29台となった。翌年の昭和32年9月1日に北郷村の古沢地区が御殿場市に合併し、消防団も第6分団に編入され、団員746名、ポンプ自動車9台、可搬式ポンプ28台、腕用ポンプ29台となった。

昭和40年4月1日、御殿場市消防本部・消防署が設置された。それに伴い消防団は消防団と各地区の火防隊とに再編成された。消防団は団員376名、ポンプ自動車11台、可搬式ポンプ15台の少数精鋭を図った編成替えとなり、その後逐次可搬式ポンプをポンプ自動車に切り替え、ポンプ自動車26台、林野火災工作車1台の計27台の近代的な装備と機動力を備えている。

平成23年4月1日、男女共同参画社会及び消防団員の活性化事業の一環としての女性消防団員登用に伴い、御殿場市消防団員の条例定員を376名から396名に改め、更に、出動費用弁償の内、水火災時の出動手当を1,500円から2,000円に改める条例の一部改正を行った。

平成25年4月1日、消防団員のサラリーマン化を受け、平日昼間の建物火災への対応として、機能別団員制度を導入し、現在370名（女性団員17名）のうち、27名の機能別団員が在籍している。また、運転免許制度の改定等に伴い、平成25年度納車のポンプ自動車よりオートマチック車の導入を開始した。

平成28年度4月1日、地域力の向上と御殿場市消防団員の継続的な確保を目的として、御殿場市に存在する事業所等が消防団員等に対する支援等を行う御殿場市消防団サポート事業制度を制定し、消防団の活性化を図る。

平成31年4月1日、大災害対応をはじめ、地域防災力の要として、消防団の役割と重要性が改めて注目される中で、「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」が施行されたこと、また、団員確保のための方策として、団員報酬額を国で目安とする団員報酬額の水準まで引き上げた。

小山町消防団

沿革

昭和23年11月1日、小山町消防団は第1分団と第2分団で発足した。管轄区域は第1分団が生土、音淵、落合、藤曲、中島、柳島及び湯船。第2分団は、菅沼、茅沼、南藤曲、大脇及び上合を担当した。当時の団員は団長以下95名、ポンプ自動車2台で活動した。

昭和28年1月16日に新しく第3分団を設置し、管轄区域を藤曲、南藤曲、中島、柳島及び湯船とした。

昭和30年4月1日に足柄村と合併し、旧足柄村を第4分団とし、分団長以下50名の団員とポンプ自動車1台、腕用ポンプ1台で活動を開始した。

昭和31年8月1日に北郷村と合併し、旧北郷村を第5分団、第6分団とし、分団長以下25名の団員とポンプ自動車1台、腕用ポンプ4台で活動を開始した。同年9月30日、須走村と合併し旧須走村を第7分団とし、分団長以下40名の団員と手引動力ポンプ1台、腕用ポンプ2台で活動を開始した。

平成22年5月1日、男女共同参画社会及び消防団員の活性化事業の一環として女性消防団員が発足し団本部に籍を置き活動を開始した。

平成23年3月には団本部に火災予防広報車を配備した。

平成6年以降5つの分団詰所を新設した。

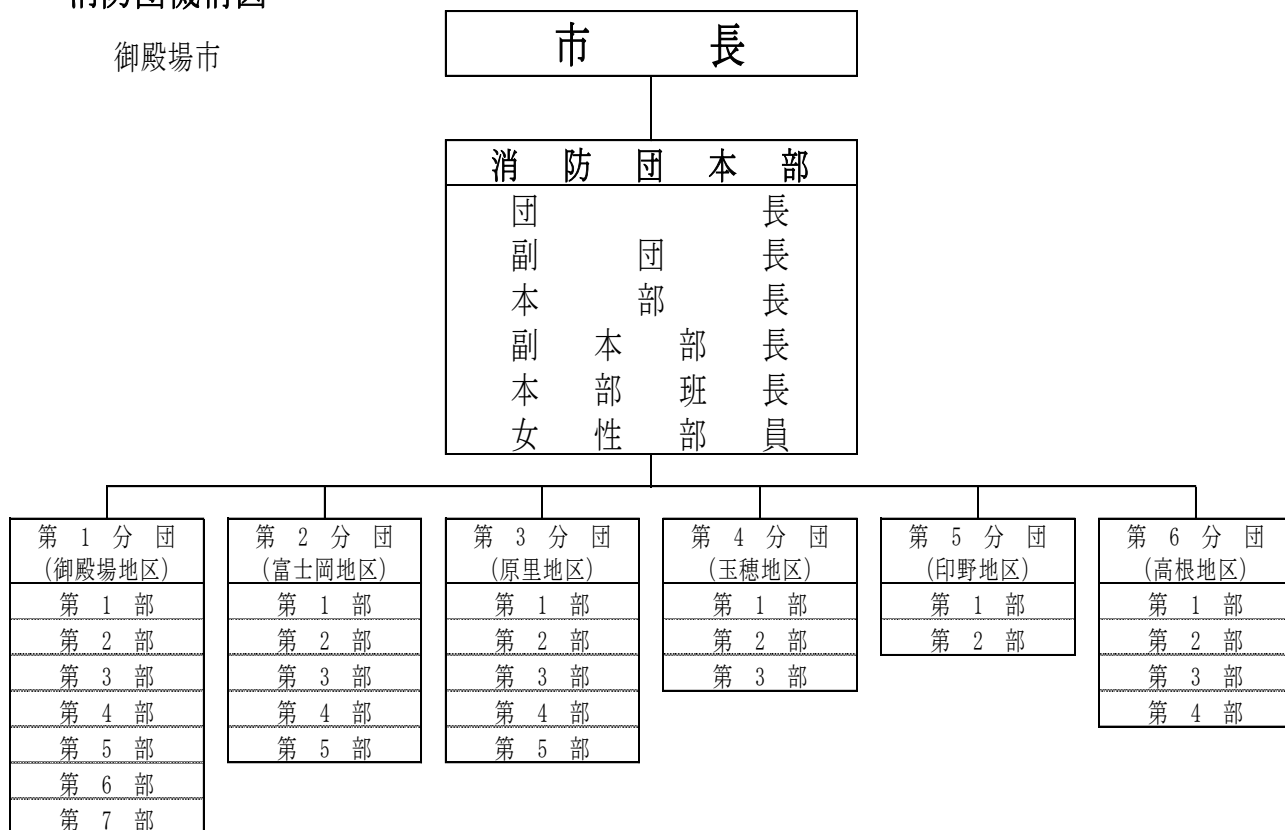
令和2年4月1日、南海トラフ地震や、神奈川西部沖地震などの大規模地震および富士山噴火等の大規模災害が懸念されるなか、消防団員OBを活用した機能別団員制度を導入した。

消防ポンプ自動車については、運転免許制度の改定等に伴い、平成16年度以降シャシをCD-IIから小型化するためCD-Iへ車種替えし、平成30年度よりCD-Iのオートマチック車の導入を開始した。

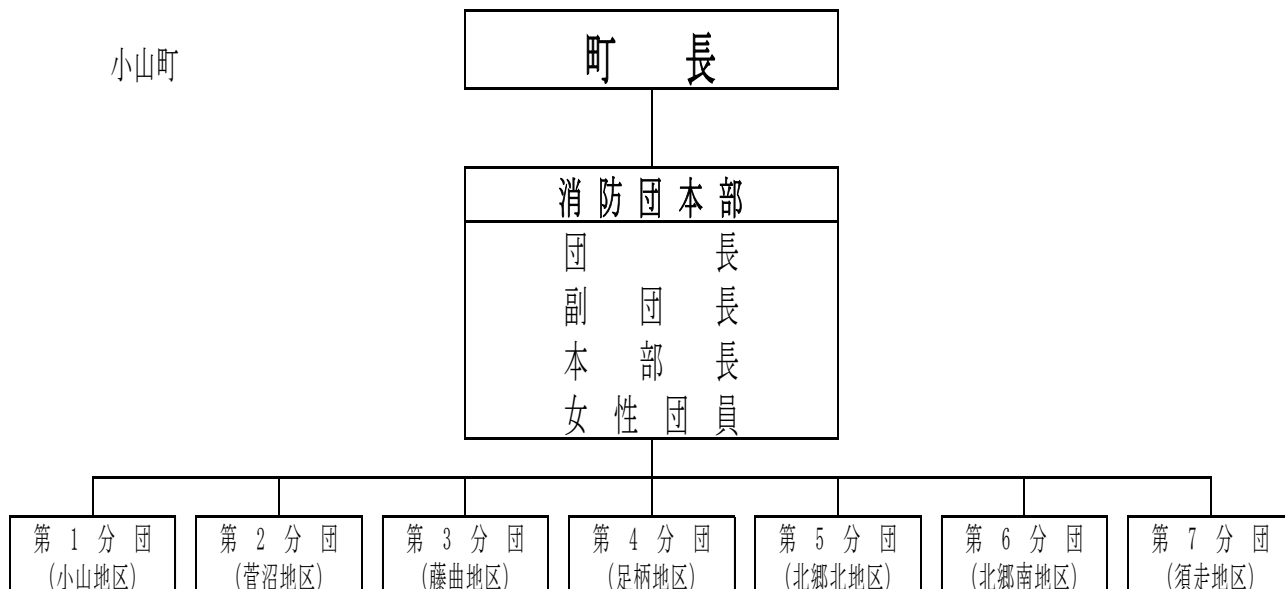
団員188名(令和2年4月1日現在)、ポンプ自動車7台、火災予防広報車1台で防火及び水防体制に万全を期している。

消防団機構図

御殿場市



小山町



令和2年度非常備消防費当初歳出予算

(単位：千円)

目	節	御 殿 場 市			小 山 町		
		令和2年度	令和元年度	比較	令和2年度	令和元年度	比較
非常備 消防費		95,504	106,943	△ 11,439	142,345	125,390	16,955
	報酬	15,848	14,365	1,483	8,047	5,936	2,111
	職員手当等	872	527	345	610	300	310
	共済費	8,954	8,940	14			
	災害補償費	45	45	0	100	100	0
	恩給及び退職年金			0	2,542	2,542	0
	賃金		1,871	△ 1,871		1,349	△ 1,349
	報償費	14,782	8,647	6,135	2,610	2,120	490
	旅費	8,244	8,944	△ 700	13,158	15,087	△ 1,929
	交際費	25	25	0	100	100	0
	需用費	20,620	8,750	11,870	6,290	6,443	△ 153
	役務費	949	851	98	1,137	1,179	△ 42
	委託料	76	43	33	2,097	527	1,570
	使用料及び賃借料	1,840	1,840	0	1,743	425	1,318
	工事請負費			0	65,700	60,517	5,183
	公有財産購入費			0		20,000	△ 20,000
	原材料費			0			
	備品購入費	229	25,944	△ 25,715	30,947	1,580	29,367
	負担金補助及び交付金	22,318	25,489	△ 3,171	7,034	7,070	△ 36
	公課費	702	662	40	230	115	115
消防 施設費		8,887	14,961	△ 6,074	3,356	1,334	2,022
	職員手当等	16	17	△ 1			0
	旅費			0			0
	需用費	1,303	6,965	△ 5,662	820	800	20
	役務費		172	△ 172			0
	委託料	215	252	△ 37	2,000		2,000
	使用料及び賃借料			0	4	4	0
	工事請負費			0			0
	原材料費	671	672	△ 1	532	530	2
	備品購入費			0			0
	負担金補助及び交付金	6,682	6,883	△ 201			0
	償還金			0			0
	公課費			0			0

消防団員階級別年齢

令和2年4月1日現在

年齢	階級	合計	団長	副団長	分団長 (本部長含む)	副分団長 (副本部長含む)	部長 (本部長含む)	班長	団員 (機能別団員含む)
合計		543	2	4	20	14	41	86	376
御 殿 場 市	20歳未満	0							
	20歳～24歳	21							21
	25歳～29歳	81					1	7	73
	30歳～34歳	137					7	36	94
	35歳～39歳	69				1	11	21	36
	40歳～44歳	23			1		7	3	12
	45歳～49歳	18				3	6	1	8
	50歳～54歳	10		1	4	2	1	1	1
	55歳～59歳	9	1		3	1			4
	60歳～64歳	1							1
	65歳以上	1			1				
	小計	370	1	1	9	7	33	69	250
小 山 町	20歳未満	2							2
	20歳～24歳	14							14
	25歳～29歳	17							17
	30歳～34歳	32							32
	35歳～39歳	34						2	32
	40歳～44歳	38			1	2	4	14	17
	45歳～49歳	19			8	3	4	1	3
	50歳～54歳	8		1	1	2			4
	55歳～59歳	7	1	2	1				3
	60歳～64歳	1							1
	65歳以上	1							1
	小計	173	1	3	11	7	8	17	126

消防団員階級別勤続年数

令和2年4月1日現在

市町別	階級	合計	団長	副団長	分団長 (本部長含む)	副分団長 (副本部長含む)	部長 (本部長含む)	班長	団員 (機能別団員含む)
合計		543	2	4	20	14	41	86	376
御 殿 場 市	5年未満	146					1	6	139
	5年以上～10年未満	148					16	47	85
	10年以上～15年未満	56			5	5	14	12	20
	15年以上～20年未満	16			3	2	2	3	6
	20年以上～25年未満	4	1	1	1			1	
	25年以上～30年未満	0							
	30年以上	0							
	小計	370	1	1	9	7	33	69	250
小 山 町	5年未満	52						1	51
	5年以上～10年未満	39					1	3	35
	10年以上～15年未満	29			1	1	1	3	23
	15年以上～20年未満	34			2	3	3	9	17
	20年以上～25年未満	11			5	2	3	1	
	25年以上～30年未満	4		1	2	1			
	30年以上	4	1	2	1				
小計	173	1	3	11	7	8	17	126	

出動費用弁償

令和2年4月1日現在

(単位：円)

区 分	支給単位	金 額		備 考
		御 殿 場 市	小 山 町	
水 火 災 の 場 合	1 回	2,000	2,000	
警 戒 の 場 合	1 回	1,500	2,000	1回が1日以上にわたるときは1日単位とする。
訓 練 の 場 合	1 回	1,500	1,500	
技 術 職 務 に 従 事 す る 場 合	年 額			主として自動車運転手として年間従事する者に支給する。

報酬年額

令和2年4月1日現在

(単位：円)

階級 市町別	団 長	副 団 長	本 部 長	副 本 部 長	本 部 班 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員	機能別団員
	御 殿 場 市	82,500	69,000	50,500	45,500	38,000	50,500	45,500	38,000	37,000	36,500
小 山 町	82,500	69,000	56,000			50,500	45,500	40,000	37,000	36,500	20,000

消防団編成及び装備

令和2年4月1日現在

区 分	階 級											機 械			
	合 計	団 長	副 団 長	本 部 長	副 本 部 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	本 部 班 長	班 長	団 員 (機能別消防団員含)	消 防 自 動 車 ポンプ車	そ の 他 の 車 両	可 搬 式 ポ ン プ (車載用) C-1	車 両 計
御 殿 場 市	定 数	396										26	4	27	30
	団 員 数	370	1	1	3	1	6	6	27	6	69	250			
	団 本 部	29	1	1	3	1			1	6	3	13		3	3
	第 1 分 団	95					1	1	7		18	68	7		7
	第 2 分 団	51					1	1	5		10	34	5		5
	第 3 分 団	60					1	1	5		13	40	5		5
	第 4 分 団	43					1	1	3		9	29	3		3
	第 5 分 団	37					1	1	2		6	27	2	1	3
第 6 分 団	55					1	1	4		10	39	4		4	
小 山 町	定 数	188										7	1	7	8
	団 員 数	173	1	3	4	0	7	7	8	2	15	126			
	団 本 部	16	1	3	4				1	2		5		1	1
	第 1 分 団	26					1	1	1		3	20	1		1
	第 2 分 団	23					1	1	1		2	18	1		1
	第 3 分 団	17					1	1	1		2	12	1		1
	第 4 分 団	23					1	1	1		2	18	1		1
	第 5 分 団	20					1	1	1		2	15	1		1
第 6 分 団	21					1	1	1		2	16	1		1	
第 7 分 団	27					1	1	1		2	22	1		1	

消防団車両配備

令和2年4月1日現在

市町村	名称	部名	所在地	車名	登録年月	経過年	機装会社	車種	排気量	ポンプ規格	
御殿場市	御殿場市消防団本部		東田中	トヨタ	15.6	16	-	ワゴン	2.970	-	
				スバル	19.2	13	-	ワゴン	1.990	-	
				ダイハツ	24.5	7	-	軽貨物	0.650	-	
	第1分団	第1部	御殿場	三菱	28.1	4	畠山	CD-I	4.560	A-2	
		第2部	深沢	日野	19.2	13	畠山	CD-I	4.000	〃	
		第3部	新橋	日野	21.2	11	畠山	CD-I	4.560	〃	
		第4部	湯沢	日野	20.2	12	モリタ	CD-I	4.000	〃	
		第5部	二枚橋	日野	20.2	12	モリタ	CD-I	4.000	〃	
		第6部	仁杉	いすゞ	29.2	3	畠山	CD-I	2.990	〃	
		第7部	東山	いすゞ	R2.1	0	畠山	CD-I	2.990	〃	
	第2分団	第1部	中山	日野	18.2	14	畠山	CD-I	4.000	〃	
		第2部	竈	いすゞ	30.2	2	畠山	CD-I	2.990	〃	
		第3部	大坂	三菱	27.2	5	畠山	CD-I	3.560	〃	
		第4部	駒門	いすゞ	31.1	1	畠山	CD-I	2.990	〃	
		第5部	神山	いすゞ	26.3	6	畠山	CD-I	2.990	〃	
	第3分団	第1部	森之腰	日野	23.3	9	畠山	CD-I	4.000	〃	
		第2部	神場	日野	24.2	8	畠山	CD-I	4.000	〃	
		第3部	板妻	日野	16.11	15	畠山	CD-I	4.000	〃	
		第4部	保土沢	日野	23.3	9	畠山	CD-I	4.000	〃	
		第5部	大沢	日野	22.2	10	畠山	CD-I	4.000	〃	
	第4分団	第1部	中畑	いすゞ	30.2	2	畠山	CD-I	2.990	〃	
		第2部	茱萸沢	三菱	27.12	4	畠山	CD-I	4.560	〃	
		第3部	滝ヶ原	いすゞ	29.2	3	畠山	CD-I	2.990	〃	
	第5分団	第1部	時之栖	日野	21.2	11	畠山	CD-I	4.560	〃	
				いすゞ	23.2	9	畠山	林野工作	2.990	-	
		第2部	印野	日野	18.2	14	畠山	CD-I	4.000	A-2	
	第6分団	第1部	塚原	日野	19.2	13	畠山	CD-I	4.000	〃	
		第2部	古沢	三菱	27.2	5	畠山	CD-I	3.560	〃	
		第3部	上小林	日野	22.2	10	畠山	CD-I	4.000	〃	
		第4部	美乃和	日野	17.2	15	畠山	CD-I	4.000	〃	
	小山町	小山町消防団本部		菅沼	トヨタ	23.2	8	-	ワゴン	1.980	-
		第1分団	小山	日野	29.2	3	畠山	CD-I	4.000	A-2	
		第2分団	菅沼	日野	24.2	8	畠山	CD-I	4.000	〃	
第3分団		藤曲	日野	23.2	9	畠山	CD-I	4.000	〃		
第4分団		足柄	日野	17.1	15	畠山	CD-I	4.000	〃		
第5分団		北郷北	日野	19.3	13	畠山	CD-I	4.000	〃		
第6分団		北郷南	いすゞ	30.12	1	畠山	CD-I	2.990	〃		
第7分団		須走	日野	26.2	6	畠山	CD-I	4.000	〃		